

Amakusa

天草市観光振興アクションプラン

[2019（平成31）年度～2022年度]

天草市



目 次

第1章 計画の策定にあたって	P 01
Ⅰ. 計画策定の趣旨・位置付け	
Ⅱ. 計画期間	
第2章 観光を取り巻く現状と課題	P 02
Ⅰ. 現状と特性	
Ⅱ. 課題	
Ⅲ. 観光入込客数の現状と推移	
Ⅳ. 観光消費額の推移	
第3章 計画の基本的な考え方	P 09
Ⅰ. 目指す姿（地域の観光の将来像）	
Ⅱ. 目指す成果（数値目標）	
Ⅲ. 施策の体系	
第4章 観光の振興	P 12
Ⅰ. 地域資源を活かし、周遊・滞在・交流型観光につなげる「魅力づくり」	
Ⅱ. 観光を支える組織、戦略的な情報発信の「仕組みづくり」	
Ⅲ. 持続的な観光振興のための「担い手づくり」	
第5章 観光施設の充実	P 25
Ⅰ. 観光拠点施設の整備	
Ⅱ. 既存施設の活用	
第6章 計画推進体制と役割	P 32
Ⅰ. 推進体制	
Ⅱ. 主体と役割	
参考資料 アクションプラン実施施策の提案	P 34
Ⅰ. 施策の提案について	
Ⅱ. 施策の提案内容	

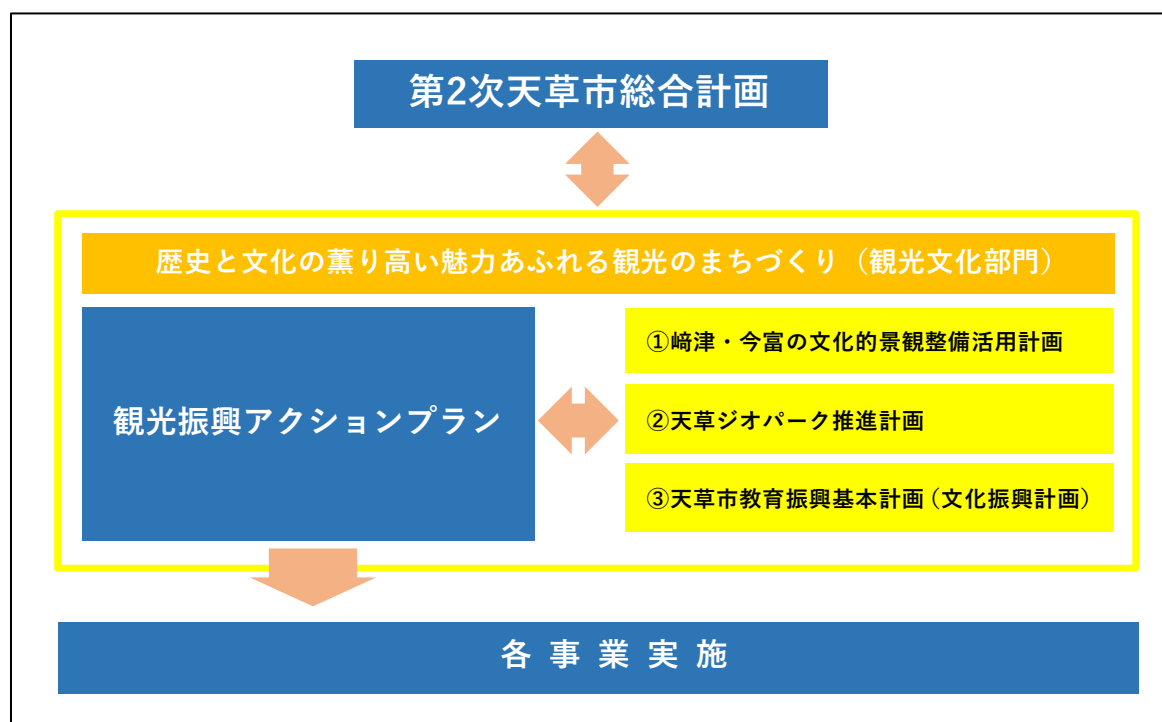
第1章 計画の策定にあたって

I. 計画策定の趣旨・位置付け

天草市では、2015（平成27）年3月に策定した“第2次天草市総合計画基本構想”において、まちづくりの基本理念を「人が輝き 活力あふれる 日本の宝島“天草”」、まちの将来像の一つを「豊かで活力ある産業のまち」と定め、「国内外の多くの人々が天草を訪れていること」を地域の目指す姿（指標）としています。

この基本構想を具体化するため、これまでの取り組み（前期基本計画）を評価・検証し、2019（平成31）年3月に“後期基本計画”を策定。同計画では、「歴史と文化の薫り高い魅力あふれる観光のまちづくり」を経営方針とし、「観光の振興」などの政策の実効性を高めるため、観光振興施策に関する分野別計画として「天草市観光振興アクションプラン」を策定しました。

■天草市観光振興アクションプランの位置付け



II. 計画期間

本プランの計画期間は、2019（平成31）年度から2022年度までの4カ年とします。

第2章 観光を取り巻く現状と課題

I. 現状と特性

本市は、熊本県の南西部に位置し、東シナ海・有明海・八代海（不知火海）の3つの海に囲まれた天草諸島内にある、天草上島・下島の一部、御所浦島などで構成されています。暖流の影響で、海岸部の一部に無霜地帯があるなど冬は暖かく、夏は比較的涼しい地域です。人口は約8万3,000人で県下第3位、総面積は683.87km²で県下最大となっています。産業は、温暖な気候を活かした農業や、豊かな水産資源を活かした漁業を主として発展してきました。



2018（平成30）年7月、「天草の崎津集落」が長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産の構成資産の一つとして世界文化遺産に登録されました。この天草の崎津集落に代表されるキリシタンの歴史や南蛮文化をはじめ、野生のイルカを間近に見ることができるイルカウォッチング、雲仙天草国立公園にも指定されている自然景観、国内で最大級の肉食恐竜の化石が発見された恐竜の島、特色ある農林水産資源を活かした食文化、牛深ハイヤをはじめとする伝統芸能、天下無双の天草陶石を使ってつくられる天草陶磁器など、魅力ある多種多様な地域資源に恵まれています。これは他地域にはない特筆すべきものです。

県庁所在地の熊本市から、天草市役所本庁舎のある本渡まで自動車ですら2時間ほど、最南端の牛深まではさらに1時間ほどを要します。また、空港・港湾の機能面では、福岡空港や熊本空港等とつながる空の玄関口・天草空港や、海の玄関口として長崎県とを結ぶ鬼池港、鹿児島県とを結ぶ牛深港・中田港などが整備されており、交通の拠点となっています。

II. 課題

本市では、全国的な傾向と同様に人口減少や少子高齢化、過疎化などが進んでいます。今後、経済循環や地域の活性化を図っていくためには、観光客などの交流人口を増加させることが重要ですが、その手段の一つとして観光の振興が欠かせないものとなっています。

観光振興による交流人口の増加を図るためには、観光客のニーズを把握し、各種施策の展開を推進することが必要となります。中でも、本市の多彩な地域資源を活かした取り組みを進めることが大切です。しかし、これらの地域資源は、それぞれの魅力としては高いものの、広大な面積の市域に点在していることから、相互の結びつき強化や一体化に向けたさまざまな取り組みを推進してきましたが、まだ、十

分な環境が整っていない現状です。そのため、観光客の誘客を図るためには、それぞれの地域資源をこれまで以上に連携させるなど、面的な取り組みが重要となっています。また、豊かな食文化を活用した食の観光化の推進や、広域的な視点で、観光客の回遊性を高める取り組みも必要です。さらに、観光客が再び訪れたいくなるような受入態勢の充実を図るため、市民のおもてなし力向上や人材育成に努めていくとともに、国際化に対応した環境整備を行い、外国からの観光客誘致にも取り組んでいかななくてはなりません。

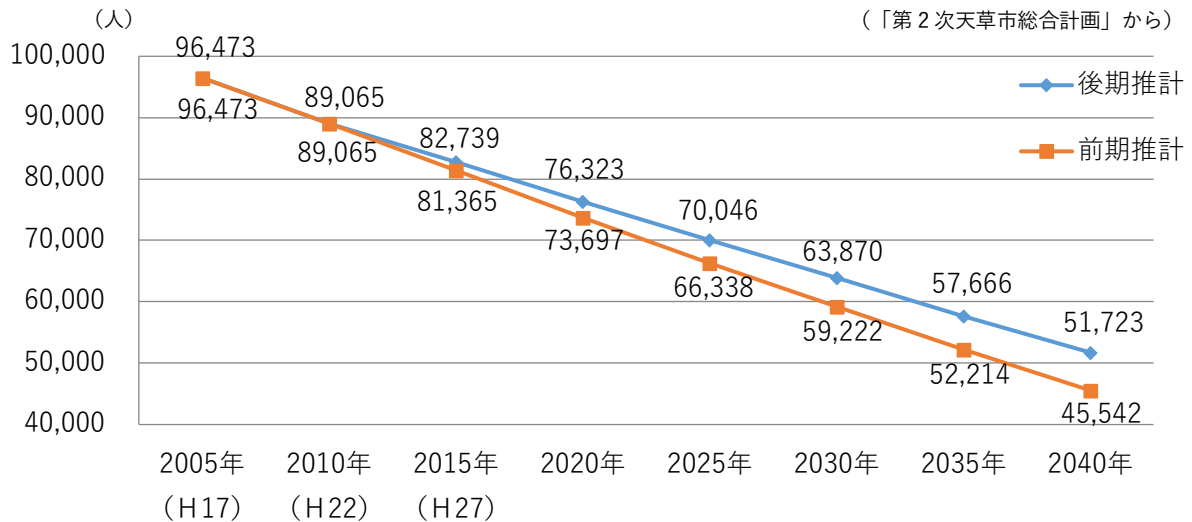
観光施設については、ジオパークの拠点施設でありながら、効果的な展示等が困難となっている老朽化した御所浦白亜紀資料館や、本市の周遊・滞在のために必要な交流拠点施設が不足しており、観光客の利便性向上や受入態勢の整備に影響が出ています。既存施設については、市町合併前に整備されたものや、経年劣化等により改修や機器の更新が必要な施設が多く、さらに利用者が少なく老朽化が著しいため見直しが必要な施設もあります。

本市は、都市圏から地理的に遠く、訪れるのに時間を要することも課題となっています。本市を訪れる人に一つでも多くの施設や歴史・文化、自然・景観などの魅力ある地域資源を訪ねてもらえるような取り組みも進めなければなりません。そのためには、関係機関と連携した天草への交通アクセスの改善を図るとともに、さまざまな情報媒体を通してアクセス方法を広く周知する必要があります。また、施設整備や機能充実を図る際に、来訪者が回遊しやすいルート、あるいは誘導したいルートを想定して整備等を実施する必要があります。

観光地には美しく快適な環境のもとで、訪れるたびに感動する総合的な魅力が求められています。その魅力の維持・向上を図るためには、地域資源を保全するとともに新たな魅力要素を付加していくという継続した努力が必要です。さらに、その魅力を広く伝えるためにも、本市への郷土愛や誇りを持つ人・組織を育成し、充実を図っていく必要があります。

これまでの観光振興施策は、全国的に感覚や経験などに基づいた取り組みが進められてきたといわれています。こうしたことから、データに基づいた戦略策定や事業展開などを図ることが重要となっており、今後は、本市においても各種データの収集や分析を継続的に行っていく必要があります。また、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに、誇りと愛着を醸成する「観光地域経営」(地域を経営するという観点)の視点に立った観光まちづくりが求められており、これをけん引していく力強い組織体制や中心を担う人材育成などの仕組みを構築していくことも重要となっています。

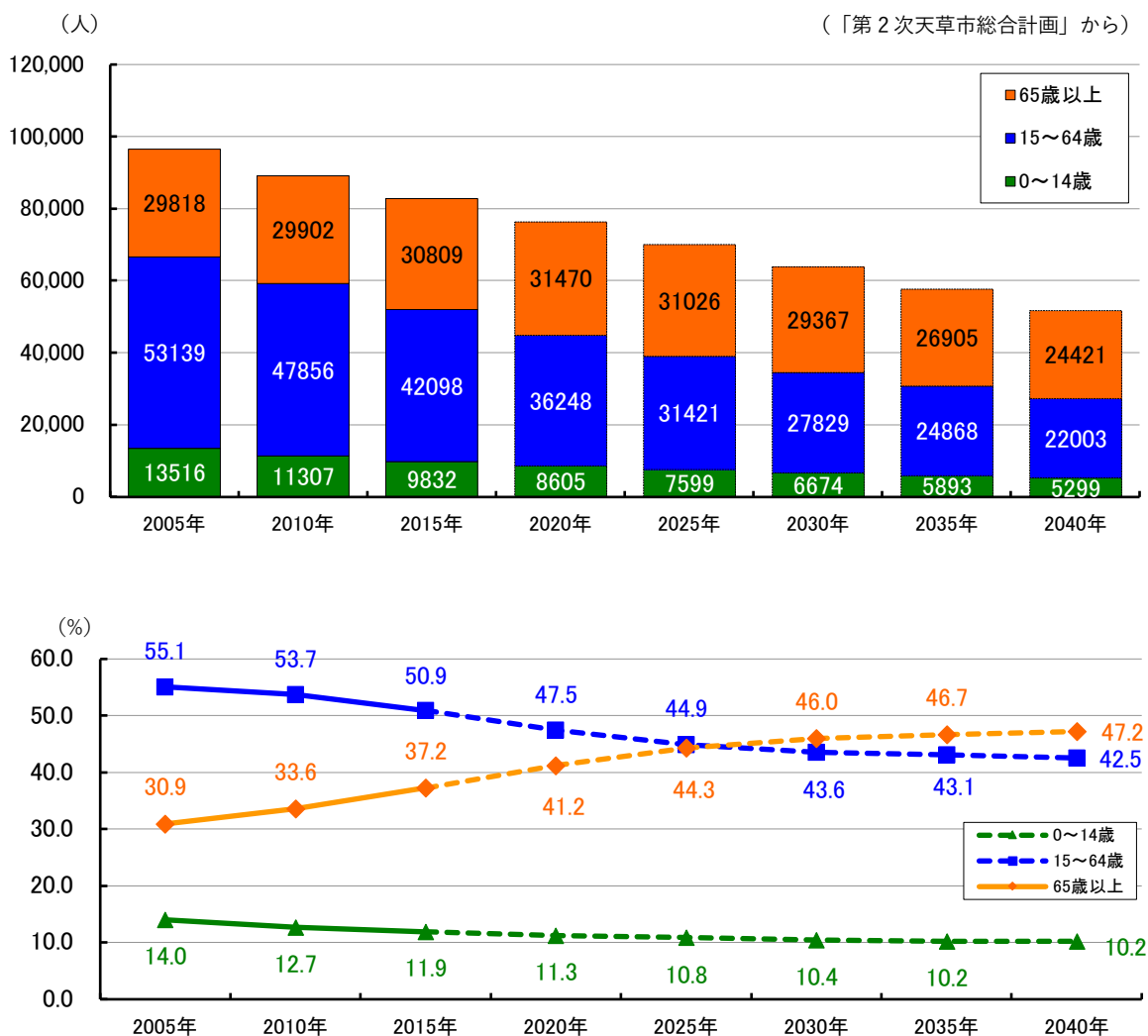
■天草市の人口総数の推移



※2010（平成22）年～2015（平成27）年国勢調査の推移を基に、コーホート変化率法を用いて独自に算出した数値。

※コーホート変化率法：人口を年齢別に5歳ごとの階層に分け、各年齢層が5年ごとに1階層上がる際、どれだけ増減するかを計算する人口推計の一般的な方法のことです。

■天草市の年齢別人口と構成割合の推移



Ⅲ. 観光入込客数の現状と推移

■観光入込客数の推移

2017（平成29）年の本市の観光入込客数（熊本県観光統計確定値）は、宿泊客数259,771人（9.6％）、日帰り客数は2,435,737人（90.4％）で、合計2,695,508人となっています。

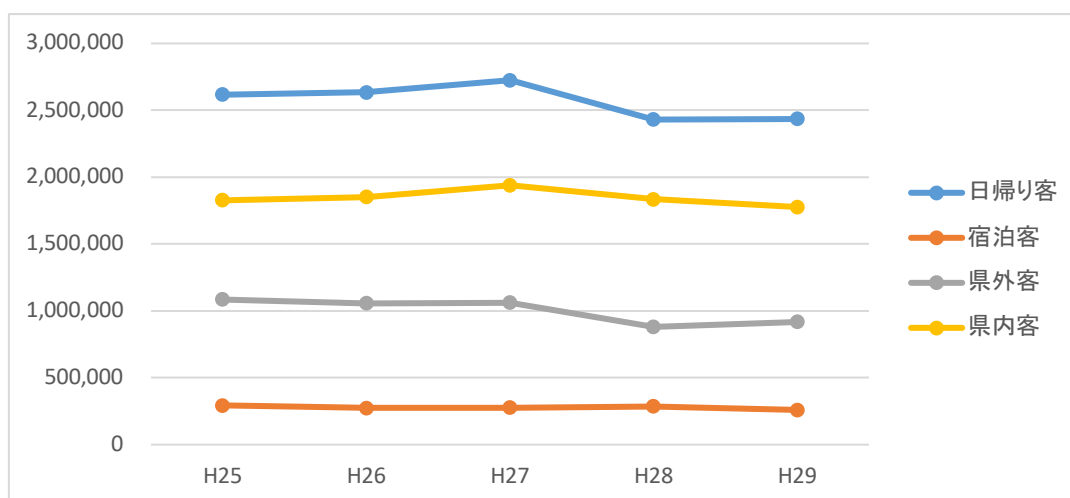
県外・県内の別で見ると、県外観光客数918,868人（34.1％）、県内観光客数1,776,640人（65.9％）となっています。

2016（平成28）年4月に熊本地震が発生し、本市への直接的な被害は少なかったものの、日帰り客と県外宿泊客が大きく減少。その一方で、県内宿泊客は本市の被災者等宿泊支援事業などにより増加しています。しかし、その後も日帰り客と県外宿泊客は、熊本地震前の水準に戻っていない状況です。

■天草市観光入込客数の推移

（単位：人）

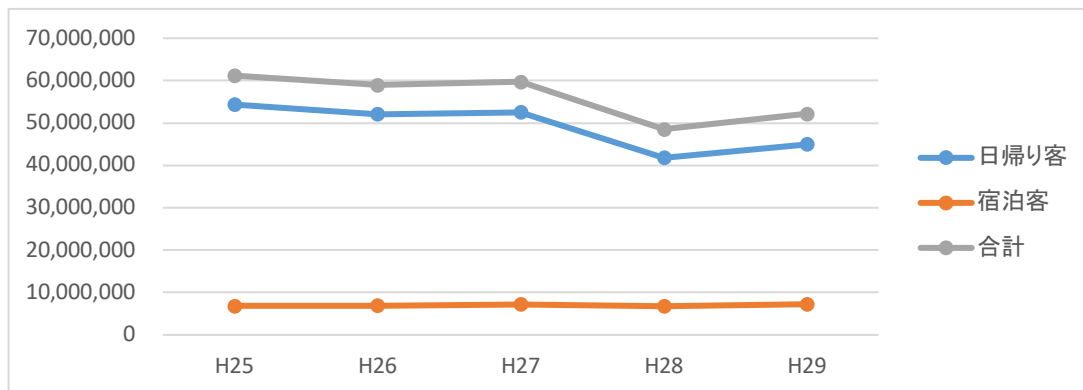
	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
日帰り客	2,618,031	2,634,702	2,725,007	2,430,468	2,435,737
県外客	909,406	891,511	892,328	725,379	776,471
県内客	1,708,625	1,743,191	1,832,679	1,705,089	1,659,266
宿泊客	293,684	274,606	275,777	285,441	259,771
県外客	175,601	166,589	168,950	155,090	142,397
県内客	118,083	108,017	106,827	130,351	117,374
合計	2,911,715	2,909,308	3,000,784	2,715,909	2,695,508
県外客	1,085,007	1,058,100	1,061,278	880,469	918,868
県内客	1,826,708	1,851,208	1,939,506	1,835,440	1,776,640



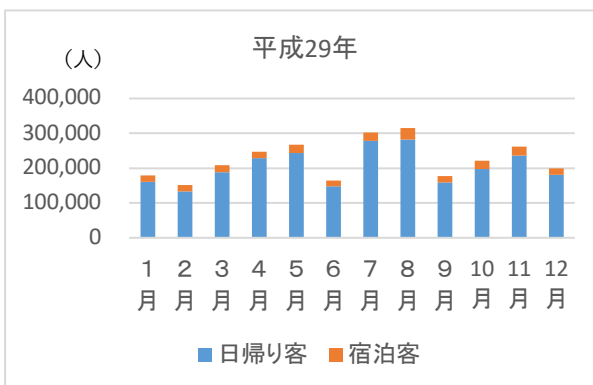
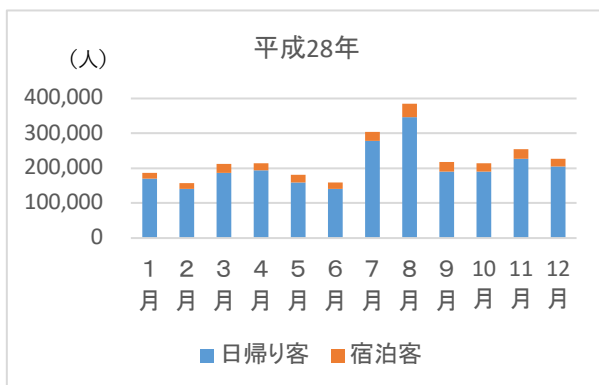
※参考：熊本県観光統計による熊本県全体の観光入込客数

(単位：人)

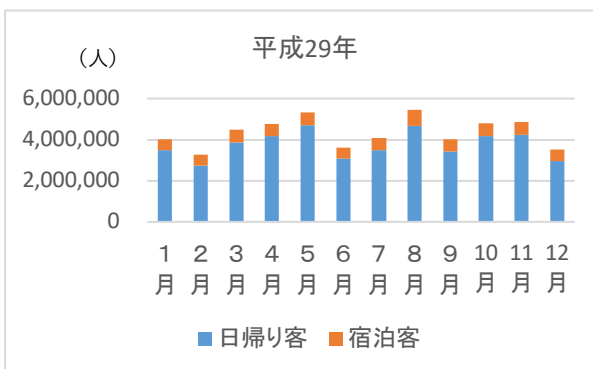
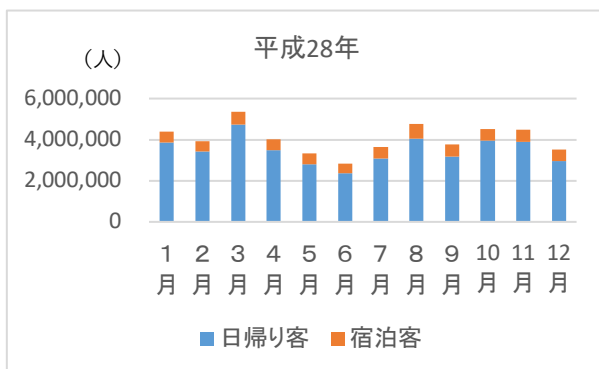
	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
日帰り客	54,350,570	52,064,829	52,521,431	41,773,306	44,945,010
宿泊客	6,838,765	6,924,237	7,202,214	6,771,532	7,241,977
合計	61,189,335	58,989,066	59,723,645	48,544,838	52,186,987



本市の年間観光客数の推移については、2016・2017（平成28・29）年の数値をみると、冬場の1月から2月は入込客が少なくなり、4月から5月にかけて増加。6月の梅雨時期にいったん落ち込みますが、夏場の7月から急激に増加し、8月にピークを迎えています。その後は減少に転じ、9月と10月はほぼ横ばいで推移しますが、11月は各種グルメフェアやイベントなどの開催で増加。冬場の12月から2月にかけて入込客が少なくなっています。この梅雨時期と冬場の観光客の誘客が本市の課題となっています。



参考：熊本県観光統計による月別入込客数



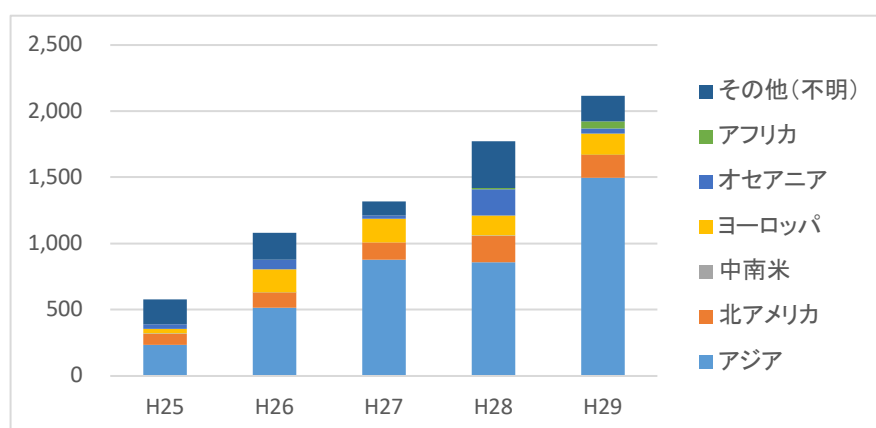
■外国人宿泊者数（地域別）

本市の外国人宿泊者数は、2013(平成25)年から年々増加し、2017(平成29)年は2,116人となりました。ただし、これは全体の宿泊客の0.8%程度です。地域別で見るとアジアが最も多く、その中でも大韓民国、台湾、中国、香港の4カ国で約8割を占めています。

訪日外国人旅行者数は2018（平成30）年に初めて3,000万人を超えました。また、熊本県においても、外国人宿泊客は2016（平成28）年の熊本地震の影響で減少したものの、2017年には調査開始後初めて74万人を超え、過去最高を記録しています。

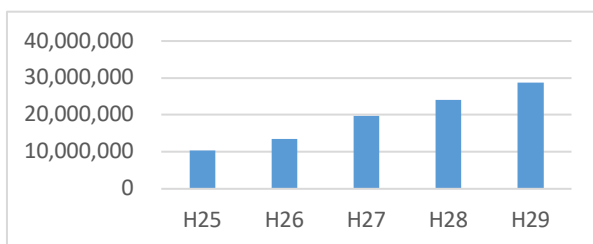
■外国人宿泊客（地域別） ※天草市外国人宿泊者数の推移 (単位：人)

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
アジア	234	517	876	859	1,498
中国	77	113	178	229	247
台湾	24	15	98	255	307
香港	56	80	229	152	242
大韓民国	65	246	234	106	354
フィリピン	0	3	2	24	73
インド	3	2	16	3	3
タイ	0	8	19	10	27
インドネシア	2	26	13	27	122
マレーシア	2	6	20	4	29
シンガポール	0	14	0	29	84
その他	5	4	67	20	10
北アメリカ	83	113	132	197	172
中南米	4	4	0	8	3
ヨーロッパ	34	172	178	146	157
オセアニア	36	70	25	201	39
アフリカ	0	0	0	11	54
その他（不明）	189	206	106	352	193
合計	580	1,082	1,317	1,774	2,116



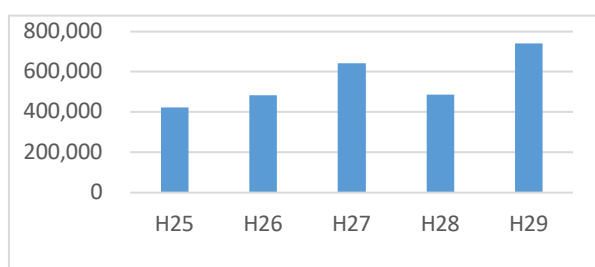
※参考：訪日外国人旅行者数（出典：日本政府観光局〔JNTO〕）グラフ1（単位：人）

平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
10,363,904	13,413,467	19,737,409	24,039,700	28,691,073



※参考：熊本県外国人宿泊客数（出典：熊本県観光統計）グラフ2（単位：人）

平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
423,400	483,891	643,831	486,237	740,876



IV. 観光消費額の推移

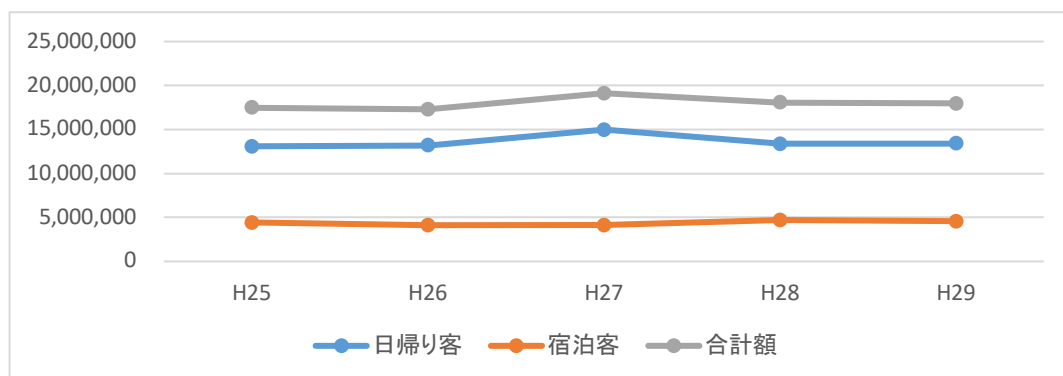
本市の観光消費額（推計値）は、合計額で2015（平成27）年に190億円を超えましたが、その後、2016（平成28）年の熊本地震の影響で減少しました。2017（平成29）年は約179億円と試算されます。

■天草市観光消費額推計値の推移

（単位：千円）

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
日帰り客	13,090,155	13,173,510	14,987,539	13,367,574	13,396,554
宿泊客	4,405,260	4,119,090	4,136,655	4,709,777	4,545,994
合計額	17,495,415	17,292,600	19,124,194	18,077,351	17,942,548

算出根拠：1人当たりの観光消費額（平成29年）日帰り客5,500円、宿泊客17,500円で算出



第3章 計画の基本的な考え方

1. 目指す姿（地域の観光の将来像）

ココロ、オドル、天草市！

歴史と文化の薫り高い魅力あふれる観光のまちづくり

本市には、キリスト教の伝来とともに南蛮文化が花開き、島原・天草一揆を経て天領として江戸幕府に統治されていた特異な歴史や、多彩な文化的遺産を有するほか、これまで先人達が守り伝えてきた祭り、風習、民俗芸能など特色ある文化的資源を有しています。

こうした歴史的・文化的資源をはじめ、雲仙天草国立公園に代表される豊かな自然景観や、野生のイルカを間近に見ることができるイルカウォッチング、特色ある農林水産資源を活かした食文化などを十分に活用するとともに、本市を周遊するための交流施設整備を行うなど「魅力づくり」に努めます。

また、海外に目を向けたインバウンド（外国人観光客誘致）に関する事業推進のほか、旅行形態の変化やニーズが多様化している中、観光地域経営の視点に立ち、各種データの収集・分析による戦略の策定と実行力のある組織の形成により観光を支える「仕組みづくり」を行います。これらの取り組みと並行して、次世代のリーダー育成や市民意識の高揚を図るため、関連団体等と連携し、観光の「担い手づくり」に努めます。

さらに、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産として世界文化遺産となった天草の崎津集落や、日本ジオパークとして認定されている天草ジオパークを最大限に活用して、戦略的に情報を発信することで天草の観光地としてのブランド力を高めます。

棚底城跡などの城跡や遺跡等を含めた歴史的文化遺産、伝統文化などを大切な宝として後世に残すため、市民の郷土愛やコミュニティ意識を醸成しながら、市民と行政が一体となって、これらの貴重な資源の保存・継承・活用に努め、歴史と文化の薫り高いまちづくりを目指します。

なお、天草市民が一体となって、楽しみながらまちづくり活動を行うことで、地域への誇りと愛着が生まれ、本市を訪れる人にも感動してもらえるまちとするため、“住む人にとっても、訪れる人にとっても心躍る天草市にしよう！”という想いを込めて、目指す姿を「ココロ、オドル、天草市！」とします。

【政策が目指す姿】

- ・地域との連携により、天草ならではの多彩な観光商品が販売されています。
- ・島民のあたたかいおもてなしの心でリピーター（天草のファン・応援団）が増えています。
- ・豊かな食文化を活用した食の観光化が推進され、誘客に繋がっています。
- ・広域的な視点での観光ルートを構築し、交流客の回遊性が高まっています。
- ・交流人口が増加し、地域の誇りの醸成や、地域経済の活性化につながっています。
- ・外国人の観光客が増加し、キリシタン文化や景観等の見どころを周遊しています。
- ・拠点施設が充実し、世界文化遺産の崎津集落やイルカウォッチング等の認知度が高まっています。
- ・拠点施設の配置が良くなり、回遊性も高まって、滞在時間が延びています。

II. 目指す成果（数値目標）

本プランを計画的・効果的に推進するため、数値目標を設定します。この数値目標をもとに、本プランの進捗状況を把握し、本市の観光振興施策全般における計画推進の成果を評価。この評価に基づき、次期計画策定の際に見直しなどを図るものとしてします。

- ・市民の観光客等の来訪実感度：2017（平成29）年35.7%→2022年 51.9%
- ・宿泊観光客数：2017（平成29）年 259,771人→2022年 320,000人
- ・観光客データの収集：2017（平成29）年 0回→2022年 2回
- ・市民向け講座等の実施：2017（平成29）年 0回→2022年 5回
- ・観光拠点施設等への来訪者数：2017（平成29）年 31,618人→2022年 200,000人
- ・観光施設の利用者数：2017（平成29）年 898,826人→2022年 1,200,000人
- ・観光消費額（宿泊客）：2017（平成29）年45億4,599万円→2022年56億円

項目	年	2017年 平成29年	2018年 平成30年	2019年 平成31年	2020年	2021年	2022年
①来訪実感度(%/年度)		35.7	47.0	48.2	49.4	50.6	51.9
②宿泊観光客数(人)		259,771	269,094	290,000	300,000	310,000	320,000
③観光客データの収集(回/年度)		0	1	2	2	2	2
④市民向け講座等の実施(回/年度)		0	0	2	3	4	5
⑤観光拠点施設等への来訪者数(人)		31,618	91,668	132,000	200,000	200,000	200,000
⑥観光施設の利用者数(人)		867,208	851,113	1,000,000	1,070,000	1,140,000	1,200,000
⑦観光消費額（宿泊客/万円）		454,599	470,914	507,500	525,000	542,500	560,000

※①は天草市総合計画の環境指標、②～⑥は同計画後期基本計画の成果指標。②・⑦の2018年は推計値

※⑦は1人当たりの観光消費額（平成29年）宿泊客17,500円で算出した数値

Ⅲ. 施策の体系

ココロ、オドル、天草市！

歴史と文化の薫り高い魅力あふれる観光のまちづくり



基本施策

1. 観光の振興

Ⅰ. 地域資源を活かし、周遊・滞在・交流型観光につなげる「魅力づくり」

(1) 地域資源の磨き上げ

- ①世界文化遺産・崎津集落のさらなる魅力向上
- ②イルカウォッチングによる誘客等
- ③冬季など閑散期の魅力向上
- ④食による誘客
- ⑤アクティビティや体験プラン等による誘客
- ⑥地域素材の観光資源化

(2) 広域観光の推進

- ①天草地域観光推進協議会との連携
- ②周辺地域との連携

(3) 受入態勢の整備

- ①公共交通機関を利用した各種ルートの構築検討等
- ②大会等誘致推進
- ③教育旅行誘致推進
- ④インバウンド（外国人観光客）誘致に伴う受入態勢の整備

Ⅱ. 観光を支える組織、戦略的な情報発信の「仕組みづくり」

(1) 観光地域経営を担う仕組みづくり

- ①（仮称）まちづくりバンクの構築検討
- ②観光地域経営のための財源確保に向けた検討

(2) 各種データの収集等と情報発信

- ①各種データの収集・分析
- ②データに基づく戦略立案
- ③効果的な情報発信
- ④フィルム・コミッション活動による情報発信

Ⅲ. 持続的な観光振興のための「担い手づくり」

(1) 市民、地域（まちづくり協議会・地区振興会）、NPO等団体の意識醸成

- ①おもてなし意識の醸成
- ②観光ガイドの育成
- ③子どもたちへの地域の魅力周知
- ④天草コンシェルジュの検討
- ⑤繁忙期の担い手不足解消施策の検討

2. 観光施設の充実

Ⅰ. 観光拠点施設の整備

(1) 「道の駅」を拠点とした島内周遊性の向上

Ⅱ. 既存施設の活用

(1) 現状と課題

- ①既存の観光施設
- ②観光トイレ
- ③観光看板

(2) 整備方針

- ①既存の観光施設
- ②観光トイレ
- ③観光看板

第4章 観光の振興

Ⅰ. 地域資源を活かし、周遊・滞在・交流型観光につなげる「魅力づくり」

平成30年の崎津集落の世界文化遺産登録により、天草市総合計画の環境指標の数値上昇が予想されますが、一時的なブームで終わることがないように、マーケティングに基づいた地域内に存在する多様な観光資源の掘り起こしと、地域が持つ天草そのものの魅力向上を図ります。また、関係自治体・観光推進協議会と連携した広域周遊ルートや市内周遊ルートの提案、インバウンド誘客、教育旅行や大会・合宿誘致活動、マリンレジャーをはじめとした体験プラン等の情報発信など、選ばれる観光地域を目指した継続的な誘客活動に取り組みます。

(1) 地域資源の磨き上げ

①世界文化遺産・崎津集落のさらなる魅力向上

事業内容：崎津集落のさらなる魅力向上を図り、崎津集落を中心とした観光ルートの設定等を行うことにより、誘客の促進を図ります。また、崎津集落の価値を伝えるため、教育機関と連携した取り組みを推進します。



実施主体：天草市、天草宝島観光協会、地元住民、教育機関等

・崎津集落の来訪者数

	項目	H26	H27	H28	H29	H30	単位	備考
目標値	来訪者数	—	100,000	150,000	160,000	170,000	人	
実績値		71,422	84,897	76,867	84,520	149,748		

	項目	2019	2020	2021	2022	単位	備考
目標値	来訪者数	160,000	150,000	150,000	150,000	人	

本プランの策定にあたっては、市民などで作る「天草市観光振興プロジェクト推進委員会」において、観光振興によるまちづくりを進めていくために取り組むべき施策などを中心に協議を行いました。同委員会では、施策の具体的な取り組みについても検討され、その施策については、第4章と第5章の各項目に「参考個票」として施策名を表記しているほか、35～44ページに各施策の提案内容などを掲載しています。

なお、提案された各施策については、本プランの各種事業が進捗する中で必要に応じて実施、または同委員会でも実施に向けて継続した検討を行います。

②イルカウォッチングによる誘客等

事業内容：五和町通詞島の沖合に生息する野生のミナミハンドウイルカの価値や、漁師との共存の歴史、間近に観察できるイルカウォッチングを国内外に発信することにより、誘客と環境保全に努めます。また、天草にイルカが生息する価値などを広く伝えるため、教育機関と連携した取り組みの推進を検討します。



実施主体：イルカウォッチング観光組合、漁協、天草宝島観光協会、天草市、教育機関等

▷ 参考個票：担い手づくり-01「イルカ学&子どもガイド養成」(P43)

・イルカウォッチングの利用者数

		項目	H26	H27	H28	H29	H30	単位	備考
目標値	利用者数		—	100,000	105,000	110,000	115,000	人	
実績値			96,680	104,827	79,258	76,760	71,611		
		項目	2019	2020	2021	2022	単位	備考	
目標値	利用者数		110,000	110,000	110,000	110,000	人		

③冬季など閑散期の魅力向上

事業内容：温泉などの天然資源やサンタクロースの聖地、イルミネーション等を活かして、観光入込客が落ち込む季節の魅力向上を図り、集客に努めます。また、季節や天候に左右されない観光資源として、冬季のマリンアクティビティや屋内での陶芸体験のほか、既存施設のソフト・ハード両面での有効活用等を検討します。



実施主体：天草宝島観光協会、地域づくり団体等、事業者、天草市、熊本県

▷ 参考個票：魅力づくり-02「全天候型プラン-01」(P35)

▷ 参考個票：魅力づくり-03「全天候型プラン-02」(P35)

・サンタクロースイベントの来場者数・サンタブランド造成数累計

		項目	H26	H27	H28	H29	H30	単位	備考
目標値	来場者数		—	10,000	12,000	14,000	16,000	人	
	造成数累計		—	8	10	12	14	件	
実績値	来場者数		6,000	11,019	35,037	18,200	6,000	人	
	造成数累計		6	24	—	—	—	件	

※H28から、事業内容を変更。 H29・H30はイベント内容を変更。

・クリスマスイベント等来場者数/12月~1月の本市への宿泊客数

		項目	2019	2020	2021	2022	単位	備考
目標値	来場者数		25,000	25,000	25,000	25,000	人	
	宿泊客数		39,100	40,400	41,800	43,100	人	

④食による誘客

事業内容：天草は豊かな農水産資源に恵まれ、食材の宝庫であることから、各種グルメフェアなどを開催し、天草の食を目的とした誘客とリピーターの増加を推進します。

実施主体：天草宝島観光協会、事業者（宿泊・飲食等）



・あまくさ井井フェア、伊勢えび祭りの利用者数

	項目	H26	H27	H28	H29	H30	単位	備考
目標値	利用者数	—	14,000	16,000	18,000	20,000	人	
実績値		11,600	22,436	20,659	21,181	27,401		

・食のキャンペーンの売上額（生うに三昧・伊勢えび祭り・井井フェア・夜美鍋・朝食）

	項目	2019	2020	2021	2022	単位	備考
目標値	売上額	220,000	235,400	251,878	269,510	千円	

⑤アクティビティや体験プラン等による誘客

事業内容：本市で観光資源として提供されているマリンレジャーをはじめとしたアクティビティや各種体験プラン、釣り等の情報整理を行い、宿泊や飲食などとの連携を図り、より効果的に誘客とリピーターの増加を推進します。

実施主体：天草宝島観光協会、事業者（宿泊・飲食等）



▷ [参考個票：魅力づくり-10「マリンレジャーの推進」\(P37\)](#)

⑥地域素材の観光資源化

事業内容：地域素材の情報を取りまとめ、観光資源の掘り起こしや磨き上げに取り組みます。観光資源は、体験プランや景観スポットとしてブランディングを推進するほか、マイナス面をプラスに変える発想で、新たな素材・魅力の開発に努めます。また、本市にゆかりのある著名人との連携による発信力、商品力の強化などの取り組みも検討します。



実施主体：市民・地域づくり団体、事業者、天草宝島観光協会、天草市

- ▷ [参考個票：魅力づくり-01「連携型プラン」\(P35\)](#)
- ▷ [参考個票：魅力づくり-04「新たな旅の目的の創造」\(P36\)](#)
- ▷ [参考個票：魅力づくり-05「土産品開発による収益化」\(P36\)](#)
- ▷ [参考個票：魅力づくり-06「既存素材のブラッシュアップによる“イチオシ素材”の選定」\(P36\)](#)
- ▷ [参考個票：魅力づくり-07「なにもつからない ノンアクションプラン」\(P37\)](#)
- ▷ [参考個票：魅力づくり-09「眺望スポットの魅力向上のための食との連携」\(P37\)](#)
- ▷ [参考個票：魅力づくり-11「アートな街づくり」\(P38\)](#)
- ▷ [参考個票：魅力づくり-12「街並みづくり」\(P38\)](#)
- ▷ [参考個票：魅力づくり-13「天草の観光拠点としての御所浦づくり」\(P38\)](#)

(2) 広域観光の推進

①天草地域観光推進協議会との連携

事業内容：熊本県天草広域本部や天草地域の各市町、経済・観光団体などで構成される天草地域観光推進協議会を中心に、オール天草で連携した観光情報発信による、天草全体の発信力強化の体制を検討するなど各種事業を展開し、天草地域への誘客を図ります。

実施主体：熊本県天草広域本部、天草市、上天草市、苓北町、各観光協会、各商工会議所・商工会等

- ▷ [参考個票：仕組みづくり-06「広域連携の推進」\(P41\)](#)

②周辺地域との連携

事業内容：周辺市町と連携し、観光客の視点に立った情報発信などを行い、本市への誘客を促進します。

- ・ 島原半島・天草三角地域観光連携協議会
- ・ 阿蘇・熊本・天草観光推進協議会
- ・ 天草・宇土半島地域広域連携事業実行委員会
- ・ 天草島内の各観光協会との連携
- ・ 長崎県南島原市との連携等

実施主体：天草市、天草宝島観光協会、熊本県、近隣市町、各観光協会等

- ▷ [参考個票：仕組みづくり-06「広域連携の推進」\(P41\)](#)

(3) 受入態勢の整備

①公共交通機関を利用した各種ルートの構築検討等

事業内容：観光客に市内をスムーズに周遊していただくため、各種交通事業者と連携した周遊ルートの構築や、空港・駅・バスセンター・港などの交通結接点から短時間で乗り継ぎが少なく天草市内にアクセスできるルートの検討を行います。また、既存の公共交通機関の活用について検討します。



実施主体：事業者（交通）、天草宝島観光協会、天草市

・天草ぐるっと周遊バス乗車人数

	項目	2019	2020	2021	2022	単位	備考
目標値	人数	3,900	4,000	4,100	4,200	人（年度）	

②大会等誘致推進

事業内容：スポーツ・学術等の各種大会や会議、合宿等の誘致を行い、本市への入込客数の増加を図ります。また、宿泊施設や受入施設の情報提供などを行い、積極的な誘致活動を展開します。



実施主体：天草市、事業者（宿泊等）

・大会等誘致補助金の利用件数、宿泊者数

	項目	H26	H27	H28	H29	H30	単位	備考
目標値	利用件数	—	35	37	39	41	件（年度）	
	宿泊者数	—	7,000	7,400	7,800	8,200	人（年度）	
実績値	利用件数	33	39	26	44	43	件（年度）	
	宿泊者数	6,582	7,092	5,383	7,866	9,346	人（年度）	

	項目	2019	2020	2021	2022	単位	備考
目標値	利用件数	50	52	55	60	件（年度）	
	宿泊者数	10,000	10,400	11,000	12,000	人（年度）	

③教育旅行誘致推進

事業内容：イルカウォッチングや化石発掘体験、天草の漁村・農村を活かした体験プログラムや民泊などの天草の魅力を発信するとともに、天草教育旅行受入協議会を中心に県の教育旅行受入促進協議会と連携した誘致活動や受入態勢の整備を行い、教育旅行の誘致を推進します。



実施主体：天草教育旅行受入協議会、天草宝島観光協会、天草市

・教育旅行による宿泊学校件数、宿泊者数

	項目	H26	H27	H28	H29	H30	単位	備考
目標値	学校件数		12	12	13	15	件（年度）	
	宿泊者数		1,500	1,500	1,700	2,000	人（年度）	
実績値	学校件数	12	16	3	9	10	件（年度）	・H28は、熊本地震の影響で実績値が減少
	宿泊者数	1,494	1,777	339	1,504	2,246	人（年度）	

	項目	2019	2020	2021	2022	単位	備考
目標値	学校件数	15	17	20	22	件（年度）	
	宿泊者数	2,300	2,550	3,000	3,300	人（年度）	

④インバウンド（外国人観光客）誘致に伴う受入態勢の整備

事業内容：マーケティングに基づいたターゲット（誘致重点国・地域）の設定、多言語案内看板の設置、翻訳を含めた情報発信の質の向上、多言語コールセンターや翻訳機器の活用促進などを行い、受入態勢の整備を図ります。なお、多言語化にあたっては、表記基準等のルールづくりとそのチェック機能を検討します。

実施主体：天草市、天草宝島観光協会、事業者

▷ 参考個票：[仕組みづくり-02「外国人観光客への効果的な情報発信」\(P40\)](#)

・外国人宿泊客数

	項目	H26	H27	H28	H29	H30	単位	備考
目標値	宿泊客数	—	1,400	1,700	2,000	2,300	人	
実績値		1,082	1,317	1,774	2,116	2,258		

	項目	2019	2020	2021	2022	単位	備考
目標値	宿泊客数	3,000	3,500	4,000	4,500	人	

II. 観光を支える組織、戦略的な情報発信の「仕組みづくり」

持続可能な地域づくりを推進するため、地域の稼ぐ力を引き出し、地域に対する誇りや愛着を醸成する「観光地域経営」の視点に立ち、多様な関係者の合意形成、各種データの収集・分析による戦略の策定と実行力のある組織により観光振興を図ります。

また、観光客のニーズの多様化等により、従来のマスメディアを中心とした手法だけでは消費者に届きにくくなっているため、来訪者データ等を効率的かつ継続的に収集し、分析に基づいた手法により効果的に情報を発信します。

(1) 観光地域経営を担う仕組みづくり

① (仮称) まちづくりバンクの構築検討

事業内容：今後の観光振興を図るためには、観光地域を経営する視点が重要となっており、観光マーケティングやマネジメントをする人・組織が必要です。そのため、セミナーやワークショップの開催などをしながら、さまざまな地域情報等が集約され、各種データに基づいて戦略をたてる「(仮称)まちづくりバンク」の構築など、観光まちづくりを推進する仕組みづくりについて検討します。

実施主体：市民・地域づくり団体、天草宝島観光協会、事業者、天草市

▷ 参考個票：[仕組みづくり-05「地域人材の組織化、観光まちづくりの推進」\(P41\)](#)

・市民向け講座等の実施

	項目	2019	2020	2021	2022	単位	備考
目標値	回数	2	3	4	5	回(年度)	・後期基本計画の成果指標

② 観光地域経営のための財源確保に向けた検討

事業内容：観光地域経営を進めるためには、財源の確保が必要となります。そのため、地域通貨や宿泊税を導入している他地域の事例を参考に財源確保に向けた検討を行います。

実施主体：天草宝島観光協会、商工会議所・商工会、観光関連団体、天草市

▷ 参考個票：[仕組みづくり-07「キャッシュレス地域通貨実施」\(P42\)](#)

(2) 各種データの収集等と情報発信

①各種データの収集・分析

事業内容：今後の観光振興を図っていくためには、各種データ等の継続的な収集・分析、データと明確なコンセプトに基づいた戦略（ブランディング）の策定、KPIの設定・PDCAサイクルの確立が必要です。本市を訪れる観光客の「どんな人（性別・年代）が、どこから（国・都道府県）、何を求めて（観光素材）、どのようにして（交通）訪れているか」など、より価値の高いデータを各種観光関連団体等と協力して収集し、専門家の助言・指導を得ながら、この分析に取り組みます。

実施主体：天草市、天草宝島観光協会、観光関連団体・事業者

▷ 参考個票：[仕組みづくり-01「観光実態把握調査、データ収集」\(P39\)](#)

・観光客データの収集（動向調査）

	項目	2019	2020	2021	2022	単位	備考
目標値	回数	2	2	2	2	回（年度）	・後期基本計画の成果指標

②データに基づく戦略立案

事業内容：これまでの感覚や経験に頼った事業推進から、本市を訪れる観光客に関する各種データの収集・分析により、さまざまな観光資源（分類）において、それぞれで明確となったターゲットとすべき顧客層に対する戦略を立案していきます。また、より効果的な方法で、地域の強みを戦略的に発信することで、観光入込客数の増加を図ります。

実施主体：天草市、天草宝島観光協会、観光関連団体・事業者

▷ 参考個票：[仕組みづくり-01「観光実態把握調査、データ収集」\(P39\)](#)

▷ 参考個票：[仕組みづくり-03「効果的PRのための明確なターゲティング」\(P40\)](#)

③効果的な情報発信

・各種メディアを活用した情報発信

事業内容：新聞や雑誌、テレビ、ラジオなど各種メディアを活用し、世界文化遺産の崎津集落やイルカウォッチングなどの天草の魅力を国内外に発信し、本市への誘客を図ります。また、本市にゆかりのある著名人と連携した取り組みも検討します。



実施主体：天草市、天草宝島観光協会等

▷ 参考個票：魅力づくり-05「土産品開発による収益化」(P36)

・メディア等での情報発信件数

	項目	2019	2020	2021	2022	単位	備考
目標値	件数	20	20	20	20	件（年度）	

・WEB・SNS等を活用した情報発信

事業内容：天草宝島観光協会HPをはじめ、フェイスブックやインスタグラムなど既存のSNS等を活用し、マーケティングに基づいた国内外への情報発信を強化します。また、観光事業者自



身の手による観光情報集約・情報発信のサイトや天草地域の素材情報を取りまとめ、観光資源への磨き上げに向けた取り組みを検討します。そのうえで観光資源となりうるものは、体験プランとしての商品化や景観スポットなどとしての活用に向けて情報整理を行い、市内の関係者で共有するほか、市外への情報発信を図ります。独自の観光アプリについても検討します。

実施主体：天草宝島観光協会、天草市、事業者、市民等

▷ 参考個票：魅力づくり-08「天草観光情報発信アプリの作成」(P37)

▷ 参考個票：仕組みづくり-04「効果的アウトバウンド実施とそのための地域一丸となって取り組む仕組み」(P41)

▷ 参考個票：仕組みづくり-08「観光業者の集約・集積した情報発信の仕組みづくり」(P42)

・天草宝島観光協会HPのセッション数

	項目	H26	H27	H28	H29	H30	単位	備考
目標値	セッション数	—	1,100,000	1,250,000	1,400,000	1,500,000	PV（年度）	
実績値		1,025,535	1,017,803	1,152,452	1,099,735	1,244,960		

※実績値のH28から、SNSのセッション数も加算。

・天草宝島観光協会HP・SNSのセッション数・ページビュー数

	項目	2019	2020	2021	2022	単位	備考
目標値	セッション数	1,140,000	1,219,800	1,305,200	1,396,500	PV（年度）	
	ページビュー数	3,200,000	3,415,000	3,655,000	3,910,200		

・観光物産展等による情報発信

事業内容：福岡を中心とした都市圏での観光物産展の開催や、各種イベントへのブース出展を行うことなどにより、天草の魅力を広く発信し、天草への誘客を図ります。また、県や国などの機関と連携し、マーケティングに基づいた海外での天草の魅力発信も検討します。



実施主体：天草市、天草宝島観光協会、天草宝島物産公社、天草市物産振興協会、事業者等

▷ 参考個票：[仕組みづくり-04「効果的アウトバウンド実施とそのための地域一丸となって取り組む仕組み」\(P41\)](#)

・天草観光物産展等PRイベントの来場者数・売上金

	項目	H26	H27	H28	H29	H30	単位	備考
目標値	来場者数	—	10,000	12,000	15,000	17,000	人	
	売上金	—	3,500,000	4,000,000	4,500,000	5,000,000	円	
実績値	来場者数	8,200	10,700	21,000	18,000	24,000	人	・うまかもん旅フェアin福岡
	売上金	3,000,000	2,935,460	3,776,680	2,565,830	4,371,210	円	
	項目	2019	2020	2021	2022	単位	備考	
目標値	来場者数	21,000	22,000	23,000	25,000	人		
	売上金	4,200,000	4,400,000	4,600,000	5,000,000	円		

④フィルム・コミッション活動による情報発信

事業内容：映画やテレビ制作等の支援を行うことにより、天草の魅力発信や本市への誘客のほか、地域の活性化を図ります。

実施主体：天草市、事業者

・天草フィルムコミッション支援数

	項目	H26	H27	H28	H29	H30	単位	備考
目標値	支援数	—	21	24	27	30	件(年度)	
実績値		19	9	4	17	16		
	項目	2019	2020	2021	2022	単位	備考	
目標値	支援数	23	25	25	25	件(年度)		

Ⅲ. 永続的な観光振興のための「担い手づくり」

人口の減少や少子高齢化、行政のスリム化が進む中で、継続性の高い観光振興を図るためには、人材の育成や自律的かつ持続的に進んでいく環境整備が必要です。

次世代リーダーの育成や観光に対する市民意識の高揚を図るため、関連団体等と連携した観光ガイド等の育成や講座・研修の実施、住民向けの観光情報を発信するとともに、来訪者の満足度向上のためにもおもてなし力の強化を図ります。

(1) 市民、地域（まちづくり協議会・地区振興会）、NPO等団体の意識醸成

①おもてなし意識の醸成

事業内容：来訪者に天草の人のやさしさやおもてなしを感じていただくことで天草ファンを増やし、リピーターの確保を図ります。観光事業者だけでなく市全体でのおもてなし意識の醸成を図るため、来訪者の満足度向上を図る取り組みを推進します。

実施主体：市民・地域づくり団体、事業者、天草宝島観光協会、天草市

▷ 参考個票：担い手づくり-04「地元の魅力を観光客へお勧めできる人の育成と連携」(P44)

・おもてなし宣言登録者数（上天草市・苓北町を含む）

	項目	H26	H27	H28	H29	H30	単位	備考
目標値	登録者数	—	4,800	4,900	5,000	5,200	人（年度）	
実績値		4,590	4,920	—	—	—		

※市内の周遊性を高め、観光客の声を受入対応に反映させるため、H28からスタンプラリーに変更。

・来訪者満足度

	項目	2019	2020	2021	2022	単位	備考
目標値	満足度	93.2	93.8	94.4	95.0	%	

②観光ガイドの育成

事業内容：天草宝島観光協会と連携し、観光ガイドの育成を行います。また、ガイドが案内するツアーの造成など各ガイド団体との連携を図りながら、受入態勢の整備を進めます。ガイドの質向上のための研修会や講演会等を実施するとともに、ガイドだけではなく、観光客と直に触れ合う宿泊業者や交通事業者などとも、観光ガイドとしての協力体制を構築します。



実施主体：天草宝島観光協会、各観光ガイド団体、事業者、天草市

・観光ガイド団体に登録した人数

	項目	H26	H27	H28	H29	H30	単位	備考
目標値	登録人数	—	120	130	140	150	人	・御所浦、牛深、天草宝島案内人の会、御領の合計
実績値		94	116	118	131	130		

	項目	2019	2020	2021	2022	単位	備考
目標値	登録人数	130	130	130	130	人	

③子どもたちへの地域の魅力周知

事業内容：将来の担い手育成のため、子どもたちへ天草の魅力を知り周知する施策を検討します。例えば、小学校や保育園で、イルカやイルカウォッチングについて事業者や専門家が講義を行い、イルカを通じて天草に興味をもってもらう「イルカ学」の導入や、マリンレジャー事業者による海についての講義・体験を実施することなどを検討します。

実施主体：イルカウォッチング観光組合、漁協、マリンレジャー事業者、教育機関等

▷ [参考個票：担い手づくり-01「イルカ学&子どもガイド養成」\(P43\)](#)

④天草コンシェルジュの検討

事業内容：地域の行事や生業の体験などを商品化し、ツアーとしてパッケージ販売することで、地域の人手不足の課題解決と地域の行事や生業の体験をしたいというニーズをつなぐ「天草コンシェルジュ」の育成と起業支援について検討します。

実施主体：地域づくり団体（青年会議所、まちづくり協議会等）、各種団体（商工会議所、商工会、青年会議所等）、天草宝島観光協会

▷ [参考個票：担い手づくり-02「天草コンシェルジュ事業」\(P43\)](#)

⑤繁忙期の担い手不足解消施策の検討

事業内容：繁忙期における観光事業者の人員不足を解消する施策を検討します。
例えば、観光事業は週末や連休が繁忙期となりますが、週末や連休での労働意欲を持つ担い手を支援するため、介護・保育の週末や連休における受け入れ体制の構築を検討します。

実施主体：福祉関係事業者（保育、介護等）、天草市

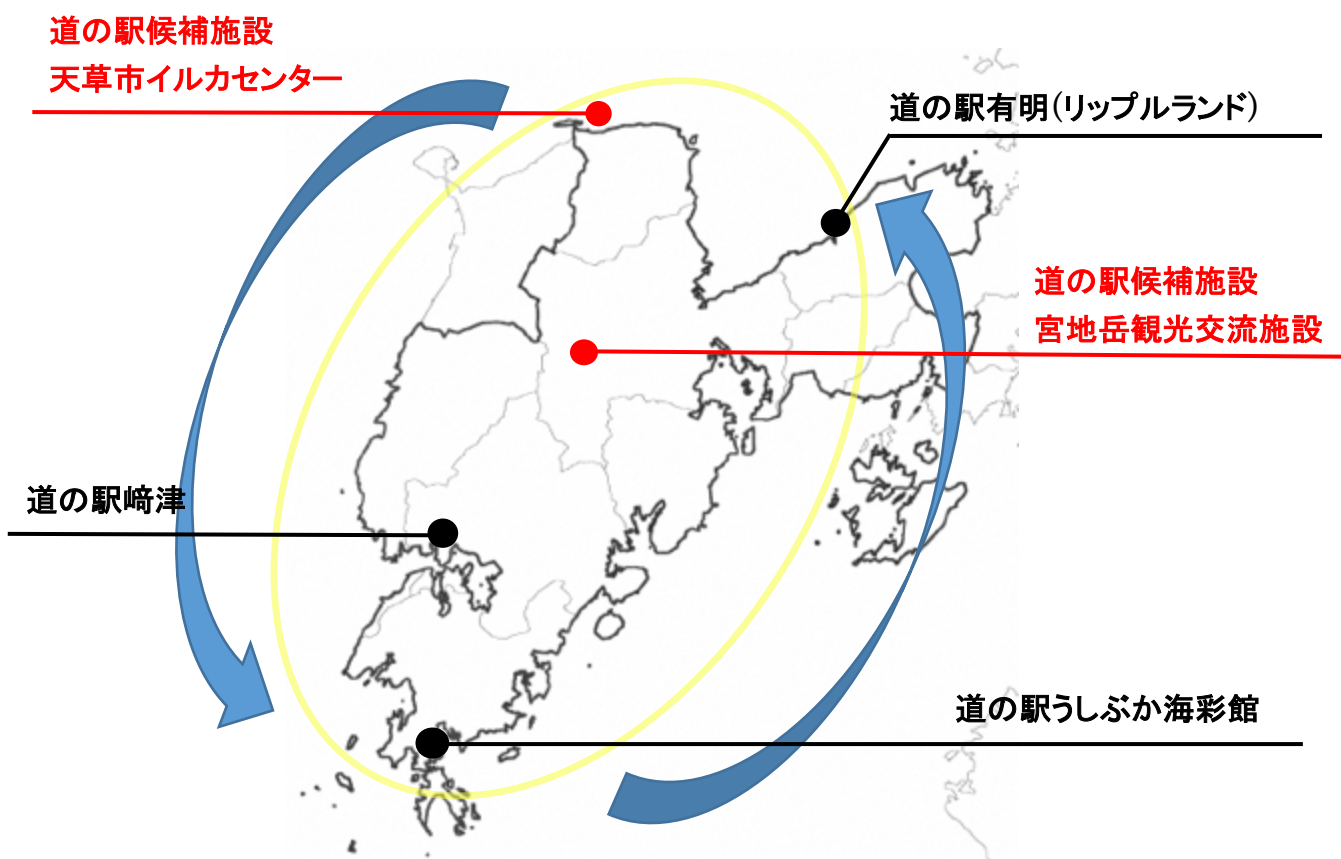
▷ [参考個票：担い手づくり-03「土日祝日の保育・デイサービス「休日当番園システム」」\(P44\)](#)

第5章 観光施設の充実

I. 観光拠点施設の整備

(1) 「道の駅」を拠点とした島内周遊性の向上

天草市が掲げる「天草市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、既存の道の駅3カ所に加え、2019年6月オープン予定の天草市イルカセンターや2020年春オープン予定の宮地岳観光交流施設などで新たな道の駅認定登録を目指し、道の駅を拠点とした島内周遊性の向上を図ります。



・観光拠点施設等への来訪者数

	項目	2019	2020	2021	2022	単位	備考
目標値	来訪者数	132,000	200,000	200,000	200,000	人	・後期基本計画の成果指標

II. 既存施設の活用

(1) 現状と課題

① 既存の観光施設

本市の観光振興課所管の施設は150施設を超えており、老朽化等により魅力や利便性が低下し、利用度が減少している施設が見受けられます。特に、温泉施設などの大型観光施設においては整備後30年近くが経過しており、予期せぬ故障が頻発し、修繕や工事に係る予算の確保に苦慮しています。また、前天草市観光振興アクションプラン（2014～2018）に記載されている施設整備方針についても検討を行っているものの、結論には至らず、統廃合が先送りされている施設があります。

② 観光トイレ

観光トイレにおいては、天草島内観光の利便性・快適性を高めるためにも、清潔で多様な機能を持ったトイレを計画的に整備していかなければなりません。しかし、水洗化や洋式化が図られていないトイレが多く存在することから、改修や多目的トイレの整備が求められています。

③ 観光看板

観光看板は、観光客をスムーズに目的地へ誘導する目的で設置されている誘導看板と、周辺情報や地図など観光情報を提供する目的で設置されている案内看板があります。

現在、崎津集落の世界文化遺産登録に伴い、本市の要望に基づき熊本県による国県道の誘導看板の改修が行われており、天草広域連合により設置された広域サイン（看板）についても改修に向けた検討が行われています。

一方で、合併前に旧市町により設置されたものと、合併後に設置したものが混在しており、場所によっては乱立気味となっているところもあります。また、老朽化により、盤面が消えかかっている看板や表示内容が古く、現状にそぐわない看板、整備から長期間が経過し、設置者不明の看板などもあり、早急な対応が求められています。

(2) 整備方針

①既存の観光施設

既存の観光施設において、老朽化等により集客が見込まれない施設は、地域の意見を聞きながら、廃止や統合、規模縮小などの方向性を判断します。一方で、集客が見込まれる施設においては、施設改修に加え、公衆無線LAN環境やEV急速充電器の整備など機能充実を図ります。

また、温泉施設などについては、施設ごとに調査を実施し、施設や設備の計画的な改修を実施します。さらに、新たな観光拠点施設やターミナルなど近隣の観光施設と連携し、施設情報の発信に努め、誘客を図ります。

・観光施設の利用者数

	項目	2019	2020	2021	2022	単位	備考
目標値	利用者数	1,000,000	1,070,000	1,140,000	1,200,000	人	・後期基本計画の成果指標

②観光トイレ

観光トイレについては、民間や市観光振興課以外の部署が所管するトイレを含めた、観光ルート沿いにあるトイレの整備状況を把握したうえで、路線ごとにトイレ整備計画を策定し、将来の利用予測に基づいた整備を行います。なお、整備計画策定にあたっては、上下水道使用等の推移などにより、利用度の低いトイレを洗い出すなど、適正なトイレ整備を実施します。

▶ [参考個票：仕組みづくり-01「観光実態把握調査、データ収集」\(P39\)](#)

③観光看板

観光看板については、観光客をスムーズに目的地に案内できる誘導看板であるか、周辺情報や地図などの観光情報を的確に伝える案内看板であるかなど検討を行い、円滑な観光地への誘導を図ります。

また、今後増加が見込まれる外国人観光客に対し、施設表記および観光サインの多言語化を図ります。多言語化にあたっては、関連部署と協議のうえ、表記基準等を策定し、一定の基準に基づいた表記や統一的な訳語のルールづくりを目指します。さらに、施設案内のピクトグラムを整備にも着手し、外国人観光客を含め、利便性の向上を図ります。

▶ [参考個票：仕組みづくり-02「外国人観光客への効果的な情報発信=天草地域内の情報発信」\(P40\)](#)

観光施設整備計画（2019年度～2022年度）

* 整備方針の用語の定義

- 現状維持・・・通常の維持管理を行う施設
- 改修予定・・・計画期間中に改修等実施予定である施設
- 機能充実・・・施設的环境や必要性に応じ機能の充実を図る施設
- 見直し・・・管理体制や施設のあり方について検討を要する施設
- 施設整備・・・新規施設として整備を予定する施設
- 撤去・・・計画期間中に撤去を行う施設

1 既存の観光施設の整備

分類	地区名	施設名称	整備方針	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	備	考
温泉施設	牛深	牛深温泉センター	改修予定	改修の検討	改修				
	有明	リップルランド公園（さざ波の湯）	改修予定	改修の検討	改修				
	栖本	栖本温泉センター	現状維持						
	五和	総合交流ターミナル施設ユメール	改修予定	改修					
	天草	下田温泉センター	改修予定	改修の検討	改修				
	河浦	総合交流施設愛夢里	現状維持						
物産館	牛深	うしぶか海彩館	改修予定	改修の検討	改修の検討	改修			
	有明	リップルランド物産館	機能充実						
	御所浦	御所浦物産館	現状維持						
	倉岳	倉岳特産品展示販売交流施設えびす茶屋	現状維持					あり方の検討	
宿泊施設	牛深	宿泊施設やすらぎ荘	現状維持	改修の検討	改修				
	天草	藍の岬簡易宿泊棟	撤去	廃止					
バンガロー等	新和	緑の村バンガロー	現状維持						
	河浦	産島バンガロー施設	現状維持						
	河浦	河浦海上コテージ施設	現状維持						
キャンプ場	御所浦	黒島キャンプ場	現状維持						
	新和	緑の村キャンプ場	改修予定						
	五和	亀島キャンプ場	撤去	廃止					
	天草	藍の岬キャンプ村	見直し	あり方の検討					必要性の検討
	河浦	産島キャンプ場 施設	現状維持						
海水浴場	本渡	本渡海水浴場	現状維持						
	牛深	茂串海水浴場	現状維持						
	牛深	砂月海水浴場	現状維持						
	牛深	魚貫崎海水浴場	現状維持						
	有明	御幸ヶ浜海水浴場	見直し	あり方の検討	あり方の検討	あり方の検討	あり方の検討		必要性の検討
	有明	四郎ヶ浜ビーチ	現状維持						
	御所浦	黒島海水浴場	現状維持						
	倉岳	えびすビーチ	現状維持						
	新和	立海水浴場	現状維持						
	五和	若宮海水浴場	現状維持						
	五和	通詞島海水浴場	現状維持						
	五和	黒崎海水浴場	現状維持						
	天草	白鶴浜海水浴場	現状維持						
	河浦	小高浜海水浴場	現状維持						
海水浴場付帯施設	本渡	本渡海水浴場更衣室	現状維持						
	本渡	本渡海水浴場トイレ（国道側）	現状維持						
	本渡	本渡海水浴場トイレ（アレグリア下）	現状維持						
	牛深	茂串海水浴場更衣室トイレ	現状維持						
	牛深	砂月海水浴場シャワー更衣室	改修予定	改修					
	牛深	砂月海水浴場トイレ	改修予定	改修					
	牛深	砂月海水浴場倉庫	現状維持						

分類	地区名	施設名称	整備方針	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	備 考
海水浴場 付帯施設 (つづき)	有明	御幸ヶ浜海水浴場トイレシャワー	見直し	あり方の検討	あり方の検討	あり方の検討	あり方の検討	必要性の検討
	有明	四郎ヶ浜ビーチ管理棟(西・東)	現状維持					
	御所浦	黒島海水浴場トイレ	改修予定	改修の検討	改修			トイレ改修
	倉岳	えびすビーチ管理棟(トイレ込)	現状維持					
	倉岳	えびすビーチ駐車場トイレ	現状維持					
	倉岳	えびすビーチ西側トイレ	現状維持					
	新和	立海水浴場トイレシャワー	現状維持					
	五和	若宮海水浴場トイレ	現状維持					
	五和	若宮海水浴場更衣室シャワー	現状維持					
	五和	黒崎海水浴場更衣室トイレシャワー	見直し	あり方の検討	あり方の検討	あり方の検討	あり方の検討	必要性の検討
	五和	通詞島海水浴場更衣室	現状維持					
	天草	白鶴浜海水浴場諏訪地区(北側)トイレ	見直し	あり方の検討	あり方の検討	あり方の検討	あり方の検討	必要性の検討
	天草	白鶴浜海水浴場更衣室シャワー	見直し	あり方の検討	あり方の検討	あり方の検討	あり方の検討	県施設(解体要望)
	天草	白鶴浜海水浴場円型休憩場	見直し	あり方の検討	あり方の検討	あり方の検討	あり方の検討	県施設(解体要望)
	河浦	小高浜海水浴場トイレ	現状維持					
公園	本渡	祇園橋小公園	現状維持					
	牛深	遠見山公園	現状維持					
	牛深	鶴葉山公園	現状維持					
	牛深	牛深海中公園	現状維持					
	有明	リップランド公園	現状維持					
	有明	老岳山頂広場	現状維持					
	倉岳	えびす公園	現状維持				あり方の検討	
	栖本	日本庭園	現状維持					
	栖本	ふれあい公園	現状維持					
	栖本	カヤツ丸公園	現状維持					
	栖本	じゅうえん公園	現状維持					
	五和	鬼の城公園	現状維持					
	五和	キリシタン墓碑公園	現状維持					
	天草	轟公園	現状維持					
	天草	十三仏公園	現状維持					
	天草	西平椿公園	現状維持					
	天草	下田温泉広場(足湯)	現状維持					
	天草	さくら公園	現状維持					
	天草	荒尾岳展望公園	現状維持					
	河浦	崎津観光交流広場	現状維持					
河浦	チャペルの鐘展望公園	現状維持						
河浦	河内浦城址公園施設	現状維持						
河浦	コレジヨ公園	現状維持						
フェリー ターミナル	本渡	本渡港ターミナル	現状維持					
	本渡	本渡・水保フェリーターミナル	現状維持					
	新和	中田フェリー港案内所	現状維持					
	五和	鬼池港フェリーターミナル	現状維持					
九州自然歩道	本渡	九州自然歩道	現状維持					
	倉岳	九州自然歩道	現状維持					
	栖本	九州自然歩道	現状維持					
観光交流 センター	本渡	天草宝島国際交流会館ポルト	現状維持					
	本渡	宮地岳観光交流施設	施設整備		整備			
	五和	天草市イルカセンター	現状維持					
	天草	下田温泉ふれあい館ぶらっと	現状維持					
	河浦	崎津集落ガイドセンター	機能充実	改修				

分類	地区名	施設名称	整備方針	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	備考
観光トイレ	本渡	本渡港観光トイレ	現状維持					
	牛深	遠見山公園トイレ	現状維持					
	牛深	まつたけ公園トイレ	見直し	あり方の検討	あり方の検討	あり方の検討	あり方の検討	必要性の検討
	牛深	権現山公園トイレ	見直し	あり方の検討	あり方の検討	あり方の検討	あり方の検討	必要性の検討
	牛深	鶴葉山公園トイレ	現状維持					
	牛深	六郎次山公園トイレ	現状維持					
	牛深	魚貫観光トイレ	現状維持					
	牛深	魚貫崎観光トイレ	現状維持					
	有明	リップランド公園子ども広場トイレ	現状維持					
	有明	老岳山頂広場トイレ	現状維持					
	有明	上津浦観光駐車場（南蛮寺）トイレ	現状維持					
	倉岳	倉岳山頂広場トイレ	現状維持					
	倉岳	大宮田クリーントイレ	現状維持					
	倉岳	竜宮トイレ	現状維持					
	倉岳	倉岳石垣散策トイレ	現状維持					
	栖本	ふれあい公園トイレ	見直し	あり方の検討	あり方の検討	あり方の検討	あり方の検討	所管替え（支所）
	栖本	じゅうえん公園トイレ	現状維持					
	栖本	白戸漁港トイレ	見直し	あり方の検討	あり方の検討	あり方の検討	あり方の検討	所管替え（水産）
	栖本	浜公園トイレ	見直し	あり方の検討	あり方の検討	あり方の検討	あり方の検討	所管替え・廃止
	栖本	椎見崎海浜公園トイレ	見直し	あり方の検討	あり方の検討	あり方の検討	あり方の検討	所管替え・廃止
	栖本	城跡（招魂場）公園トイレ	見直し	あり方の検討	あり方の検討	あり方の検討	あり方の検討	所管替え・廃止
	新和	中田フェリー港トイレ	現状維持					
	新和	はまぼう公園トイレ	現状維持					
	新和	くじら公園トイレ	見直し	あり方の検討	あり方の検討	あり方の検討	あり方の検討	所管替え（都市計）
	新和	下大多尾運動広場トイレ	見直し	あり方の検討	あり方の検討	あり方の検討	あり方の検討	所管替え（水産）
	新和	町民体育館屋外トイレ	見直し	あり方の検討	あり方の検討	あり方の検討	あり方の検討	所管替え（水産）
	新和	町民グラウンドトイレ	見直し	あり方の検討	あり方の検討	あり方の検討	あり方の検討	所管替え（水産）
	五和	二江観光福祉トイレ	撤去	解体				イルカCに併せた整備
	五和	鬼の城公園トイレ	現状維持					
	五和	キッズガーデントイレ	現状維持					
	五和	五和海洋レジャーセンタートイレ	撤去	解体				
	天草	轟公園トイレ	現状維持					
	天草	十三仏公園トイレ	現状維持					
	天草	西平椿公園トイレ	現状維持					
	天草	荒尾岳展望所トイレ	見直し	あり方の検討	あり方の検討	あり方の検討	あり方の検討	必要性検討
	天草	鬼海ヶ浦展望所トイレ	現状維持					
	天草	大江天主堂周辺トイレ	撤去	解体				
	天草	福連木スクールバス車庫横トイレ	見直し	あり方の検討	あり方の検討	あり方の検討	あり方の検討	所管替え・廃止
	天草	さくら公園トイレ	現状維持					
	天草	妙見浦トイレ	現状維持					
	天草	中央公民館前バス停トイレ	現状維持					
	天草	中央バス停トイレ	撤去					管財課撤去予定
	天草	高浜港トイレ	見直し	あり方の検討				所管替え（土木）
	天草	ロザリオ館屋外トイレ	現状維持					
	河浦	産島バンガロートイレ	現状維持					
	河浦	チャペルの鐘展望公園トイレ	現状維持					
	河浦	崎津観光トイレ（諏訪神社下）	現状維持					
河浦	向江観光駐車場トイレ	現状維持						
河浦	崎津漁協前観光トイレ	現状維持						

分類	地区名	施設名称	整備方針	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	備 考
夕陽八景	牛深	魚貫海岸の夕陽（ベンチ・標柱）	現状維持					
	牛深	黒石海岸の夕陽（標柱）	現状維持					
	牛深	小森海岸の夕陽（ベンチ・標柱・防護柵）	現状維持					
	牛深	遠見山の夕陽（標柱）	現状維持					
	天草	夕陽丘の夕陽（ベンチ・標柱・防護柵）	現状維持					
	天草	鬼ヶケ浦の夕陽（標柱）	現状維持					
	天草	十三仏の夕陽（標柱）	現状維持					
	天草	大ヶ瀬の夕陽（ベンチ・標柱）	現状維持					
	河浦	拝瀬・鳴瀬の夕陽（標柱）	現状維持					
	河浦	マリア像の夕陽（標柱）	現状維持					
その他	本渡	鈴木三公像	現状維持					
	本渡	デコボンモニュメント	改修予定	改修				
	有明	タコ街道モニュメント	改修予定	改修				
	五和	引坂松原海岸緑地	現状維持					
	五和	緑地休養センター	撤去	解体				
	五和	五和町海洋レジャーセンター艇庫	撤去	解体				
	五和	五和町海洋レジャーセンター倉庫	撤去	解体				
	五和	鬼池港花壇	現状維持					
	河浦	下町駐車場	現状維持					
	河浦	中町駐車場	現状維持					
	河浦	向江観光駐車場	現状維持					
	河浦	崎津漁協前観光駐車場	現状維持					
	天草	五足の靴文学遊歩道 関連施設	現状維持					
	天草	大江天主堂駐車場	現状維持					
	天草	大江天主堂花公園	現状維持					
天草	ブルーガーデン	現状維持						

第6章 計画推進体制と役割

I. 推進体制

本プランに基づく観光振興施策を推進するため、「天草市観光推進協議会」を中心に、市民・地域・団体、事業者・観光協会、行政が連携・協働しながら、「歴史と文化の薫り高い魅力あふれる観光のまちづくり」を推進していきます。

◎天草市観光推進協議会・構成団体

天草宝島観光協会、天草観光旅館連絡協議会、天草女将の会、天草西海岸サンセット協議会、天草市まちづくり協議会連絡会、本渡商工会議所、牛深商工会議所、天草市商工会、天草市物産振興協会、熊本県天草広域本部、天草市

また、本プランの進捗管理を行う組織として、「天草市観光振興プロジェクト推進委員会」(P34参照)を立ち上げ、計画の目的や意義の共有を図ります。また、各種事業における具体的な取組状況の把握やPDCAサイクルに基づく評価、意見交換等を行うとともに、さまざまな社会情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて基本施策などの見直しや追加、優先順位やスケジュールの検討などを行っていきます。

評価にあたっては、本プランで定めた数値目標等の定量的な指標を活用するなど、第三者にもわかりやすい評価に努めるものとします。

II. 主体と役割

本市の観光振興施策を実施していくためには、観光協会、事業者、市民・地域づくり団体、行政が、それぞれの役割を明確に認識し、各主体間で連携を図りながら取り組みを進めていく必要があります。そのため、本プランを推進するにあたり、各主体に期待される役割を次のとおり示します。

(1) 観光協会

天草宝島観光協会は、本市の観光振興を推進する中核的な存在として、組織体制の充実・強化に努めます。また、行政や市民・地域づくり団体、事業者などの関係機関と連携・調整を図り、主体的な事業展開（観光客の誘致促進、天草の魅力開発など）を進めていきます。

(2) 事業者（観光事業者、交通事業者、宿泊・飲食事業者、商工業者、農林漁業者など）

観光産業の担い手として、それぞれが持つ施設や商品の魅力アップをはじめ、観光客に対するおもてなしなど各自が持つノウハウや、地場産品の活用による地域経済の循環の向上、雇用の創出、事業者同士の連携強化のほか、観光協会や行政との連携により、天草の魅力向上に努めていくことが期待されます。

(3) 市民・地域づくり団体

観光まちづくりの主役・担い手として、地域素材の発掘や磨き上げを通して郷土への愛着を持ち、地域の歴史・文化への理解を深めていくことが期待されます。

また、おもてなしの心を持ち、観光客との積極的な交流を深めるとともに、それぞれの立場に応じた自主的かつ積極的な取り組みへの参画が期待されます。

(4) 行政

市の関係部局はもとより国・県をはじめ、関係自治体や観光協会、市民・地域づくり団体、事業者との協議や調整をしつつ、天草市総合計画や本計画に基づく観光振興施策を推進するとともに、各主体が自主的に取り組む観光振興事業を支援していきます。

さらに、観光拠点や観光施設の整備を行い、「歴史と文化の薫り高い魅力あふれる観光のまちづくり」を推進していきます。

参考資料 アクションプラン実施施策の提案

1. 施策の提案について

本プランに市民の意見を反映させるとともに、10年後、20年後の天草市を見据えた観光振興について検討するため、「天草市観光振興プロジェクト推進委員会」を立ち上げました。平成30年12月から翌年2月までに、2回の全体会議や3回のワーキングなどを実施。観光振興によるまちづくりを進めていくために取り組むべき施策などを中心に協議を行い、その結果の多くは本プランに反映されています。

また、本プランの内容だけでなく、施策の具体的な取り組みについても検討。その内容は次項の「施策の提案内容」に掲載しています。この提案内容は、本プランの各種事業が進捗する中で必要に応じて実施、または同委員会で実施に向けて継続した検討を行います。

◎天草市観光振興プロジェクト推進委員会メンバー（順不同、敬称略）

馬場昭治（委員長）、荒木圭一、井手浩輝、井上雅之、右山秀幸、浦上咲枝、浦川良子、江上章、江上英輝、江崎航、岡部祐一、岡本真理子、小川知己、金子友理子、上剛司、川崎茂雄、川田安幸、木村邦彦、佐々木啓二、島田一良、武内隆昌、富田誠至郎、中野誠志、錦戸啓人、野崎知美、野崎聖史、濱欽亮、原田竜一、平下豊、藤本恵子、藤本深子、前田知洋、松下亮、松永英也、松本勇也、村上正臣、安田量寛、山下幹生、山本博、横山理恵、吉永正敬、赤木聖一、城下聡子、大塚純子、濱崎美圭、古川雄一、吉田綾、山崎寛子

II. 施策の提案内容

(1) 魅力づくり

連携型プラン：体験可能企画の見える化・旅先の急な予定変更に対応・素材が多すぎる＝選択の楽しみに変える		魅力づくり-01
目的	旅の新しい目的の創造 天草を巡ることを旅の目的に	
内容	<p>◎食材調達型プラン 食材を調達しながら天草を旅し、宿泊施設で夕食（場合によっては朝食）を旅の思い出とともに食す新しい旅のカタチ。 宿泊施設と食材を提供する事業者、特に一次産業従事者が連携することで実施可能。「魚釣り」「芋ほり」など農漁業体験との組み合わせで、よりアクティブな旅となる。</p> <p>①宿泊施設が独自に事業者と連携するプラン ②観光協会を含む旅行会社が設定して広くツアーとして販売する旅行商品</p>	
想定主体	宿泊施設と各事業者、観光協会を含む旅行会社	
スケジュール	<p>①初年度前期はモニターとして協力可能な宿泊施設や事業者と連携し、試験的に実施。 ②初年度後半から新しいエリアや施設、メニューを追加しながら一部自走。 ③2年目から商品として拡大。</p>	
関連プラン	魅力づくり（1）地域資源の磨き上げ⑥地域素材の観光資源化	

全天候型プラン-01		魅力づくり-02
目的	天候に左右されない・雨の日でも楽しい天草・観光収入の平均化	
内容	<p>◎全天候型釣り堀 既存の釣り堀に屋根を付け、雨天でも利用可能とする。オプションでお土産として持ち帰りが自由にできるようにする。</p>	
想定主体	釣り堀事業者・漁協	
スケジュール	<p>①初年度はテントなど簡易的な設備で実施。 ②利用状況を見ながら本格的な施設整備。</p>	
関連プラン	魅力づくり（1）地域資源の磨き上げ③冬季など閑散期の魅力向上	

全天候型プラン-02		魅力づくり-03
目的	天候に左右されない・雨の日でも楽しい天草・観光収入の平均化 子どもも楽しめる天草 公営温泉施設の経営改善	
内容	<p>◎温泉アスレチック 既存の公営温泉施設に「流れるプール」「スライダー」などアスレチック性を持たせ、季節、天候、年代を問わず楽しめる施設を整備する。</p>	
想定主体	行政及び関連団体	
備考	投資を伴うので、十分なマーケティングと協議が必要	
関連プラン	魅力づくり（1）地域資源の磨き上げ③冬季など閑散期の魅力向上	

新たな旅の目的の創造		魅力づくり-04
目的	新たな旅の目的の創造	
内容	◎ アートの島づくり 世界的に著名なアーティストや若手の作品を島の各地に展示。天草の風景と一体となって新しい景観を生み出す。	
想定主体	実行委員会	
備考	十分な資金と長期的な取り組みが必要であり、実行委員会などの確固たる組織が不可欠。	
関連プラン	魅力づくり（1）地域資源の磨き上げ⑥地域素材の観光資源化	

土産品開発による収益化		魅力づくり-05
目的	土産品開発による収益化	
内容	◎ WANIMA 関連グッズの販売 天草市出身で現在若者を中心に絶大な人気バンドとなった WANIMA を天草の資源と捉え、天草でなければ入手できない限定グッズを販売する。 グッズそのものが旅の動機となりえる。	
想定主体	観光協会等	
備考	WANIMA 事務所サイドとの交渉が最重要課題 情報発信も含め本市出身の著名人と積極的に連携していく	
関連プラン	魅力づくり（1）地域資源の磨き上げ⑥地域素材の観光資源化 仕組みづくり（2）各種データの収集等と情報発信③効果的な情報発信・各種メディアを活用した情報発信	

既存素材のブラッシュアップによる“イチオシ素材”の選定		魅力づくり-06
目的	天草は魅力的な素材が多すぎるため、あれもこれもと宣伝することで、一つひとつの魅力が薄まっている。 →それぞれの素材を磨き上げ、その中で今のニーズに最も即しているであろうものに注力した PR 展開を行う。 →同時に、選定したものをどのように磨き上げ、より魅力的な素材になるかを検討し、実行する。 理想形=「〇〇といえば」でパッと「天草」が浮かぶように	
内容	具体的な計画の内容 ①天草の観光素材をそれぞれ出し合う ②その中でも最も魅力的なもの、磨けば光りそうなものを選定 ③“いま”のニーズに即した形に作り上げる ④ゴールが見え始めた時点で積極的な PR を開始 ⑤開始後もマーケティングを行い、さらなる磨き上げを実施 ⑥軌道に乗ってきたら次の素材へ	
想定主体	選定された素材によって異なる	
スケジュール	↓下記の数字は「内容」項目の「具体的な計画内容」参照↓ 1年目：①・②（素材の出し合い・選定） 2年目：③（作り上げ・磨き上げ） 3年目：④・⑤（PR・マーケティング） 4年目：⑥（次の素材選定作業（①・②）→③へ戻る）	
備考	↓参考事例↓呼子のイカ、阿蘇の赤牛丼、長崎ちゃんぽん など（食に限らず、その地域の代名詞的な存在になりうるものならなんでも OK）	
関連プラン	魅力づくり（1）地域資源の磨き上げ⑥地域素材の観光資源化	

なにもつukらない ノンアクションプラン		魅力づくり-07
目的	「ゆっくり時間を過ごしたい」「リラックスしたい」（何もしないこと）といった天草で過ごせる時間を求めてやってくる方へのプランを提供できる天草にする。	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・今すでに天草がもっているもの、天草にいるひとときに共有できるものを天草ならではのと捉え、天草の時間をいっしょに過ごしませんかというスタンスでPR ・つくりあげるアクションプランではなく、なにもつukらないノンアクションプランとして考える。 ・その人のためだけに要望に応じ、天草が今もっている魅力をその人に対して提案できるようにする＝コンシェルジュ ・個人、家族、カップルなどそれぞれに合わせて提案をできる体制づくりをする。 	
備考	「ゆっくり過ごす」には、時間と食べ物が大切	
関連プラン	魅力づくり（1）地域資源の磨き上げ⑥地域素材の観光資源化	

天草観光情報発信アプリの作成		魅力づくり-08
目的	市民を巻き込んだ魅力づくりと情報発信	
内容	市民が天草の情報を書き込みつukりあげる観光情報発信アプリをつくる。	
備考	動画コンテストで魅力発信（スポットごとやターゲットで分ける）	
関連プラン	仕組みづくり（2）各種データの収集等と情報発信③効果的な情報発信・WEB・SNS等を活用した情報発信	

眺望スポットの魅力向上のための食との連携		魅力づくり-09
目的	眺望スポットの魅力向上	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・眺めの良い場所や夕陽の見える場所などにカフェ的な場所をつくり、ゆったり過ごしてもらえるような仕掛け。 ・地元食材を使った出張レストラン。 	
関連プラン	魅力づくり（1）地域資源の磨き上げ⑥地域素材の観光資源化	

マリンレジャーの推進		魅力づくり-10
目的	マリンレジャー客の新規呼び込みと需要喚起による観光振興	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・天草の海では様々なマリンレジャーの取り組みが展開できる ・ナイトダイビング→宿泊需要増へつながる ・冬季ナイトダイビングも特色がある→冬季の需要増 ・シュノーケリングとイルカをセットにした新商品→話題性・消費アップ 	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイバーは海が好きなので、海の中をきれいにしてくれる。 ・全国でダイバーによるクリーンアップイベントもある。 ・四方を3つの海に囲まれた天草は荒天に強く、年間を通じて台風の直撃以外ダイビングが中止になることはないという強みがある。 ・天草には40カ所以上のダイビングポイントがあり、初心者から上級者まで楽しめ、さらに四季による季節の変化の魅力が加わる素晴らしいポテンシャルがある。 	
関連プラン	魅力づくり（1）地域資源の磨き上げ⑤アクティビティや体験プラン等による誘客	

アートな街づくり		魅力づくり-11
目的	文化芸術をツールにした観光その他来訪人口の増加	
内容	閉じられたシャッターをキャンバスにアートする その他、土木工作物など無機質な景観なものをアートする コンテスト開催など	
想定主体	官公庁、シャッターなどのキャンバス提供者、保育園、幼稚園、小中高大学校、アーティスト、作家、事業者他	
関連プラン	魅力づくり（１）地域資源の磨き上げ⑥地域素材の観光資源化	

街並みづくり		魅力づくり-12
目的	歴史文化に沿った街並み景観を復刻、観光地としての質向上	
内容	通りを指定及びネーミングし、建築様式・色使いの統一感をもたせる。この場合「通り」とは商店街という仲見世的ところや歴史文化財へ続く参道・地区・地域など	
想定主体	都市計画、建築士会学会、建築業者、各建築物や敷地等の所有者	
関連プラン	魅力づくり（１）地域資源の磨き上げ⑥地域素材の観光資源化	

天草の観光拠点としての御所浦づくり		魅力づくり-13
目的	御所浦への観光客誘致策を講じることが天草全域に観光客を周遊させ、かつ、滞在時間を延ばす効果があり、宿泊につなげることができる。 また、県内のみならず鹿児島方面からも海路を通じて集客することが可能となり、世界中から注目される場所となることを目指す。	
内容	御所浦白亜紀資料館の建て替え計画に伴い、恐竜の島御所浦をテーマに様々な体験型のスポットを作り出す。 万国共通の恐竜を中心に、御所浦にしかないものを活用しながら、世界でここだけの場所を作り出し、御所浦を天草観光の重要な目的地にする。	
想定主体	民間事業者、御所浦住民全員、御所浦町の漁協、地元金融機関、天草の観光関連事業者、天草市、熊本県など	
スケジュール	2023年の（仮称）御所浦白亜紀博物館完成に合わせた取り組みの実現	
関連プラン	魅力づくり（１）地域資源の磨き上げ⑥地域素材の観光資源化	

(2) 仕組みづくり

観光実態把握調査、データ収集		仕組みづくり-01
目的	<p>本当の数字を知って次の展開を考えるため、天草にどこから、どれくらいの人が訪れているか、実態を把握することでターゲットングや効果的な観光振興策の立案につなげる。</p>	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 橋、船の発着場に定点カメラを設置し分析する ・ 観光予算を精査し効果的観光施策に反映させる <p>例) 観光トイレの上下水道料金を調査し、実際にどれくらい使用されているかを把握。不要なトイレは撤去し、その予算をほかの観光振興策に充てる。</p> <p>温泉など赤字の観光施設に観光客がどのくらい訪れているかを調査、地元の人のための施設はまちづくり予算等別予算で運営し、効果的観光施策展開を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光施設や宿泊施設、体験等で観光客がいくらお金を使っているかの実態を把握。数値目標は経済効果＝売り上げで設定する（入込客数がいくら増えてもお金が落ちなければ、地域経済への効果はない）。 	
想定主体	<p>データ収集実施主体：天草市 分析実施主体：観光協会または観光マーケティングができる組織 現在の観光協会には観光マーケティング・マネジメントを行う余力がなく、観光協会の中に、あるいは別組織で観光マーケティング・マネジメントを行う組織が必要</p>	
備考	<p>データ収集・解析の流れのイメージ（天草市観光振興プロジェクト推進委員作成）</p>	
関連プラン	<p>仕組みづくり (2) 各種データの収集等と情報発信①各種データの収集・分析 仕組みづくり (2) 各種データの収集等と情報発信②データに基づく戦略立案 既存施設の活用 (2) 整備方針②観光トイレ</p>	

外国人観光客への効果的な情報発信 ＝天草地域内の情報発信		仕組みづくり-02
目的	外国人観光客への情報発信の質が担保されていない。案内サイン等の翻訳内容、翻訳の質がバラバラで、統一されていない。結果、効果的インバウンド向け情報が提供されていないといった課題がある。これを解決し、以下の効果を上げるために実施 ①インバウンド向け情報発信の質の向上により外国人観光客の利便性や満足度を高め、観光地としての評価向上、観光客数増加につなげる。 ②外国人視点での情報発信を行う	
内容	◎目的①のために 多言語化に当たり翻訳水準や訳語にルールを設ける。「キリシタン館」等、案内サインやマップ等で繰り返し登場する公共施設やメインの観光スポット等については、言語ごとに訳語を統一する。翻訳を含め受託する業者には翻訳の水準を一定以上に保つ対策を講じる。 ◎目的②のために 外国人を雇い、外国人視点での情報発信を継続して行う。	
想定主体	実施主体：観光協会または観光マーケティング・マネジメントを行う組織 関連主体：外国語に堪能な団体（ワールドフレンズ天草）	
関連プラン	魅力づくり（3）受入態勢の整備④インバウンド（外国人観光客）誘致に伴う受入態勢の整備 既存施設の活用（2）整備方針③観光看板	

効果的 PR のための明確なターゲティング		仕組みづくり-03
目的	現在のアクションプランや個々の観光振興、観光施策にターゲット設定がなされていない。効果的な観光振興施策の展開や観光情報発信を行うために、ターゲティングを明確にする。	
内容	・外国人観光客誘致のためのターゲットの絞り込み →在日外国人を対象に調査。天草に魅力を感じるのはどこの国のどんな人かを明らかにして効果的 PR を行う。 →日本が好きでリピート率の高い有望な外国人観光客市場を絞り込む (例) 住民の 3 分の 1 が訪日経験を持ち、10 回以上日本を訪れた人が 2 割もいる香港など	
想定主体	実施主体：観光協会または観光マーケティング・マネジメントを行う組織	
関連プラン	仕組みづくり（2）各種データの収集等と情報発信②データに基づく戦略立案	

効果的アウトバウンド実施とそのための地域一丸となって取り組む仕組み		仕組みづくり-04
目的	待っていても外国人観光客は来てくれない。積極的に PR することで地域経済に効果が高まる。お金を使ってくれる外国人観光客を誘致。地域一丸となって売り込むことで効果を高める。	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「香港で天草食のフェア」など、絞り込んだ地域で天草の食をからめた PR を実施 →例えば天草の鰯と魚を積極的に売り込む →鰯職人が香港に乗り込んで天草の魚の美味しさ、鰯の美味しさを PR。天草で鰯を握るパフォーマンスを SNS で発信 ・地域一丸となって「売って出る」ために、観光や食の関係者に積極的にアウトバウンド活動情報を発信する。 	
想定主体	実施主体：実需者＝宿泊施設、商工業者を取りまとめる商工会・商工会議所 関連主体：観光協会または観光マーケティング・マネジメントを行う組織（事務局として PR 活動運営に係るなど）	
関連プラン	仕組みづくり（2）各種データの収集等と情報発信③効果的な情報発信・WEB・SNS等を活用した情報発信 仕組みづくり（2）各種データの収集等と情報発信③効果的な情報発信・観光物産展等による情報発信	

地域人材の組織化、観光まちづくりの推進		仕組みづくり-05
目的	天草地域全体で観光振興に取り組み、地域一丸となって活性化を図る	
内容	現状の観光協会の業務を行う部署と別に、観光マーケティング・マネジメントを行う部署を設置する。または、別組織を立ち上げ、観光マーケティング・マネジメントを推進する。	
想定主体	実施主体：観光に係る行政・団体～天草市、観光協会、商工会・商工会議所 関連主体：金融機関、観光事業者など	
関連プラン	仕組みづくり（1）観光地域経営を担う仕組みづくり①（仮称）まちづくりバンクの構築検討	

広域連携の推進		仕組みづくり-06
目的	観光客にとって本当にメリットになる情報提供を行うことで地域の魅力や満足度を高める	
内容	天草市単独ではなく、苓北町、上天草市と連携した観光情報発信を行い、天草全体としての発信力強化につなげる。2市1町が相互に情報を共有し、情報を発信しあう（ウェブサイトなどで）。	
想定主体	実施主体：観光協会または観光マーケティング・マネジメントを行う組織 関連主体：天草四郎観光協会、苓北町観光協会	
関連プラン	魅力づくり（2）広域観光の推進①天草地域観光推進協議会との連携	

キャッシュレス地域通貨実施		仕組みづくり-07
目的	天草市内での観光客の消費活動活性化とキャッシュレス化の推進	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スマホ等で決済できる地域通貨を導入。手数料を一般のキャッシュレス事業者より低く設定し、天草市の事業者の利用推進を図る。運営は観光マーケティング・マネジメント組織が担い、手数料の一部を組織の運営資金に充てる。 ・地域通貨活用で得られたデータを消費額把握に活用する。 	
想定主体	実施主体：観光協会または観光マーケティング・マネジメントを行う組織 関連主体：天草市、商工会・商工会議所、飲食店組合等事業団体	
関連プラン	仕組みづくり（1）観光地域経営を担う仕組みづくり②観光地域経営のための財源確保に向けた検討	

観光業者の集約・集積した情報発信の仕組みづくり		仕組みづくり-08
目的	観光業者による集約・集積した情報発信で天草ファンをつくる。	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・観光業者による集約・集積した情報発信をインターネットで行うことで、天草ファンをつくり、天草ファンが毎日チェックする情報集積サイトとする。 ・サイトに掲載されるのは、今の観光情報を観光業者自身が今の情報を発信するもの。 *ベンチマークは宮崎延岡の「ノベスタ」http://nobe-star.com/ ・イルカ、飲食、ホテル、ダイビングやシーカヤック、SUP などのマリンスポーツ、温泉、陶磁器など、天草の多様な業者が参加する。 	
想定主体	<ul style="list-style-type: none"> ・サイトの構築主体、管理主体は要検討 ・情報発信主体は、イルカ、飲食、ホテル、ダイビングやシーカヤック、SUP などのマリンスポーツ、温泉、陶磁器など、天草の多様な業者 	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・天草にも「かたらんなブログ」があるが、観光業者自身が今の情報を発信するもの、という違いがある。 ・ベンチマークは宮崎延岡の「ノベスタ」http://nobe-star.com/ 	
関連プラン	仕組みづくり（2）各種データの収集等と情報発信③効果的な情報発信・WEB・SNS等を活用した情報発信	

(3) 担い手づくり

イルカ学&子どもガイド養成		担い手づくり-01
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生が天草の魅力を知る ・心を育てる ↳次世代の天草への郷土愛の醸成 ・後継者（将来の担い手）育成 ↳子どもガイドがイルカウォッチングの魅力を上させる 	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校、幼稚園、保育園に行って、天草のイルカについて話を（プロジェクター、クイズ方式など子どもが興味を持つ形式で） ・イルカ学を小学校の授業に取り入れる ・イルカの海開きに招待 ・ゆくゆくはイルカウォッチングに子どもガイドを採用 	
想定主体	イルカウォッチング観光組合、漁協	
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ①H31年度 体制づくり 試験的に実施 ②実施校を、現状にあわせて、毎年増やしていく ③中長期的な効果が見込まれる 	
関連プラン	魅力づくり（1）地域資源の磨き上げ②イルカウォッチングによる誘客等 担い手づくり（1）市民、地域（まちづくり協議会・地区振興会）、NPO等団体の意識醸成③子どもたちへの地域の魅力周知	

天草コンシェルジュ事業		担い手づくり-02
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナス面をプラスにする→地区の課題（区役）や繁忙期の人手不足を商品化 ・情報不足解消 ・おせっかい役の充実（webの管理） 	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地区の課題（区役）を商品化→天草を楽しめるカレンダーを作ってみる ↳例えば、鬼火焼き等、地区の行事を有料（もしくは竹切りで参加券がもらえる）で提供するツアー等 ・魅力づくりのコンテンツをオーナー制度にしたり、農業漁業の作業を商品化しモデルコース（ex.みかん収穫と釣りで2泊3日のプラン等）をつくる ・カスタマイズ方式、パッケージで提供する ⇒以上の運営を担う人は、「天草コンシェルジュ」として起業してもらう 	
想定主体	商工会議所、商工会、青年会議所、観光協会 <ul style="list-style-type: none"> ・仕組みは実施主体が組み立て、起業したコンシェルジュが具体的な商品化とツアー運営を行う。 ・商工会議所、商工会、青年会議所、JA、漁協で、起業やコンテンツを募集、実施支援を行う。 	
数値目標	検討中（4年後→観光おもてなし人口=〇人/8万人（天草市全体の〇%））	
スケジュール	短期的に経済効果が見込めることから、優先順位が高い。即実施実行したい。	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・みつばちラジオで、「こんなプランが喜ばれました！」と紹介する ・「地域のTVやラジオ」+「商工会議所・商工会・青年会議所・観光協会」+「各業界の専門家（農業・漁業・文化ほか）」+「起業したコンシェルジュ」のコラボ事業 	
関連プラン	担い手づくり（1）市民、地域（まちづくり協議会・地区振興会）、NPO等団体の意識醸成④天草コンシェルジュの検討	

土日祝日の保育・デイサービス 「休日当番園システム」		担い手づくり-03
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用対策 ←観光客は、週末や連休に来客が多く、多くの飲食店や観光施設が人手不足。お客様に良いサービスが提供できない ←天草の若い世代（女性）でも働きたい ・観光業に携わる人的資源不足の解消←接客・調理職が、働きに出られない ↳働ける環境づくり ・土日祝日に働くことで、親の収入を上げる 	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・働きたくても働きに出られない人たちの、介護・保育の課題解消 ・土日祝日に仕事する人たちの子どもを預かる場をつくる（福祉・デイサービスも同様） ⇒保育所連盟との持ち回りで園を開放する（受け入れる）体制をつくる ↳地区ごとに施設で子どもを受け入れる	
想定主体	天草市地域保育所連盟	
スケジュール	①即、メンバーが保育所連盟に働きかける。 ②短期的な効果が見込める	
備考	休日当番医の保育・介護版システム	
関連プラン	担い手づくり（１）市民、地域（まちづくり協議会・地区振興会）、NPO等団体の意識醸成⑤繁忙期の担い手不足解消施策の検討	

地元の魅力を観光客へお勧めできる人の育成と連携		担い手づくり-04
目的	地元の魅力を観光客にお勧めできる人の育成と連携	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の人にお勧めされたら観光客はまず間違いなくいく。 ・地元の人が天草のいいところを知って紹介できるような仕組みをつくる。 ・例えば天草空港へ向かう人へ良いところがありますよと天草酒造を紹介するような連携をする。 ・リピーターとなってもらえるような案内もできるようにする。 	
関連プラン	担い手づくり（１）市民、地域（まちづくり協議会・地区振興会）、NPO等団体の意識醸成①おもてなし意識の醸成	



天草市観光振興アクションプラン

2019（平成31）年3月

〒863-0023

熊本県天草市中央新町 15 番 7 号
天草宝島国際交流会館ポルト 2 階
天草市観光文化部 観光振興課